

令和5年度 総合計画実施計画

健康福祉部健康推進課 3つのけんしん（健康診査・がん検診・歯科健診）の充実、受診率の向上事業

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	3つのけんしん（健康診査・がん検診・歯科健診）の充実、受診率の向上事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支えあって健康寿命をのばす。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		国保特定健診受診率（%）	39.9	60	60	60
	目標（何を達成するのか）	40～69歳がん検診総受診者数（人）	24,000	34,900	34,900	34,900
健康診査やがん検診、歯科健診をすすんで受け、自分の健康管理に努める市民を増やす	かかりつけ歯科医を持つ市民の割合（%）		60.6	60.6	60.6	

事業概要

市民が健康管理を行うための手段である各種健（検）診を引き続き実施する。各種健（検）診受診体制の充実を図るとともに、健（検）診受診啓発を行い、受診者数の増加を図る。（数値目標の目標年度）

国保特定健診受診率：R11（2029年度）特定健診等基本方針（国）に基づく
 40～69歳がん検診総受診者数：R5（2023年度）第2次健康まつえ21基本計画より
 かかりつけ歯科医を持つ市民（かかりつけ歯科医で年1回以上歯科健診を受けている人）の割合：R5（2023年度）第2次健康まつえ21基本計画より ※R4年度に調査実施

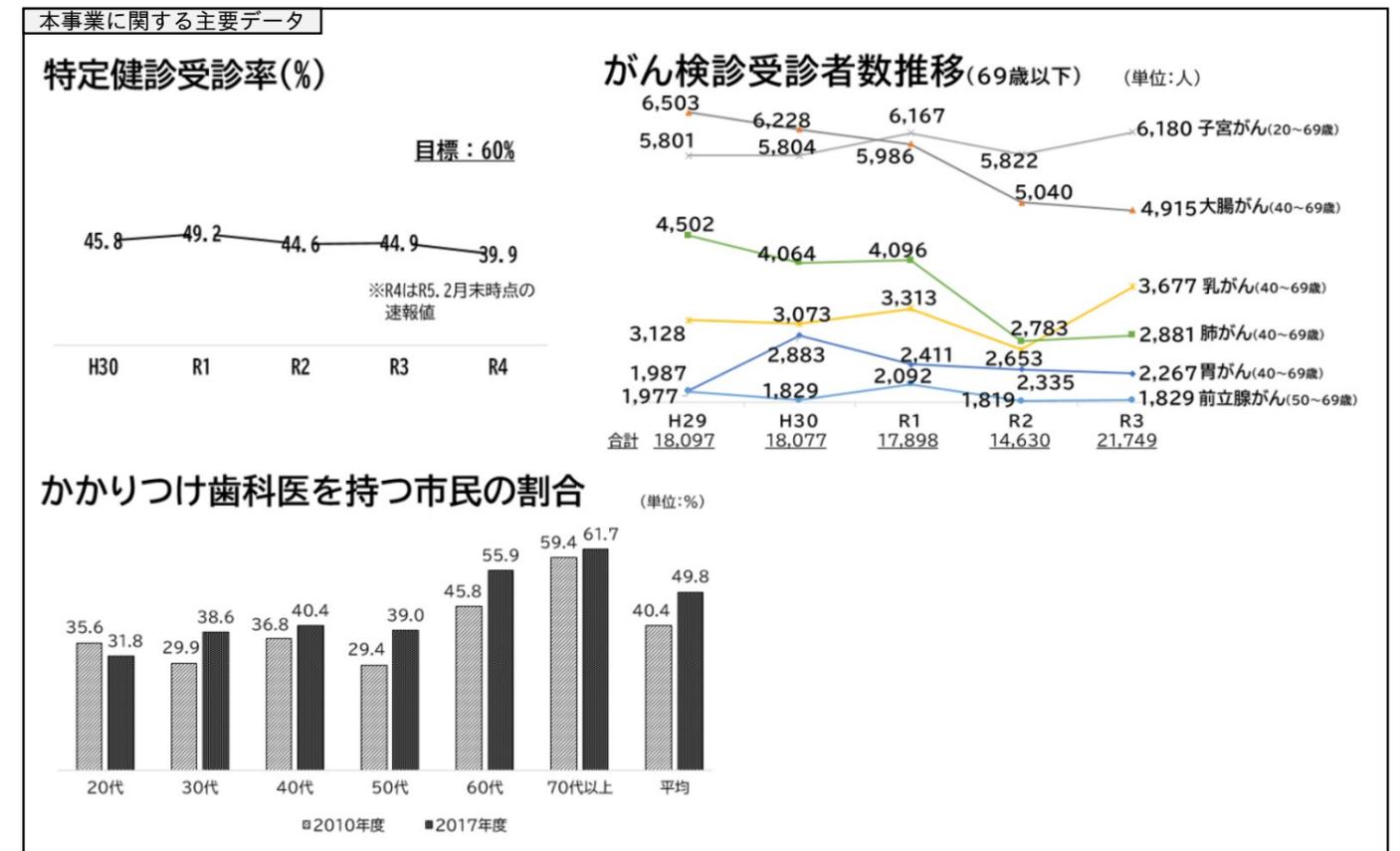
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも安心して受診できる体制整備 健康診査実施期間の延長 効率的な会場設定 休日集団健診の実施 受診勧奨、啓発 受診券の送付 「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、マール、ラジオ、健康メール等 健康調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 受診しやすい体制整備 未受診理由の分析（健康調査結果） 健康診査実施期間の延長 効率的な会場設定 休日集団健診の実施 受診勧奨、啓発 受診券の送付 「けんしんのお知らせ」全戸配布 ホームページ、市報、マール、ラジオ、健康メール 関係機関との連携による周知啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 受診しやすい体制整備 受診行動に結びつく受診勧奨、啓発の工夫
	<p>達成度</p> <p>3 計画目標に向けて進捗はやや遅れている</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	573,644	593,493
国・県支出金	145,910	150,750
地方債		0
その他	212,112	217,531
一般財源	215,622	225,212
歳入合計	573,644	593,493

課題	内容	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> 年齢が低いほど受診率が低い傾向にある。 コロナ禍による受診控え等の影響から受診者数が減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 受診率向上に向けた取り組みを継続する。 健（検）診を受けるメリットが伝わるような効果的な周知啓発を実施する。 健康調査の結果から健診未受診理由を具体的に把握し、効果的な対策を検討する。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	3つのけんしん（健康診査、がん検診、歯科健診）の充実、受診率の向上

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月下旬	受診券発送	12月～2月	各種健（検）診検討会議
	5月末	「けんしんのお知らせ」全戸配布		
	6月～3月	各種健（検）診実施、周知啓発		
	9月	がん征圧月間（ポスター掲示等）		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
01報酬	9,842	12委託料	544,755
03職員手当等	2,054	13使用料及び賃借料	595
04共済費	2,000	18負担金補助及び交付金	4,236
07報償費	850		
08旅費	626		
10需用費	12,343		
11役務費	16,192		
事業費計			593,493

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	健康まつえ21計画推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支え合って健康寿命を延ばす。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		受診率（国保特定健診）（%）	39.9	60	60	60
目標（何を達成するのか）	健康づくりに取り組む市民の割合（%）	41.8	65	65	70	
市民・行政・関係機関が連携して基本計画を推進することで、健康づくりに対する市民一人一人の行動の変容を促し、右記の目標を達成する。						

事業概要

健康まつえ21基本計画は、健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項に基づく「市町村健康増進計画」と食育基本法（平成17年法律第63号）第18条に基づく「市町村食育推進計画」を一体的に策定し、「松江市総合計画」及び「松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を上位計画として位置づけ、本市の全世代の健康づくりの実行計画として各種事業を実施する。

令和5年度まで第2次基本計画の期間中であり、令和5年度中に第3次基本計画を策定する。

計画期間・・・第2次：平成25年度から令和5年度までの11年間（※）
 第3次：国が示す基本方針を勘案し決定
 （※）国が定める『国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針』の期間が1年間延長されたことに合わせ、期間の終期を1年間延長

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	①各種事業の推進 ②第3次基本計画策定準備 ・健康に関するアンケート実施 ・次年度予算計上 ・策定支援業務委託準備 ・実績値調査	①各種事業の推進 ②第3次基本計画策定 ・策定支援業務受注者選定 ・策定委員会設置、開催 ・関係課意見照会 ・地域ヒアリング実施 ・パブリックコメント実施	①各種事業の推進
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		2,455	4,903
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	2,455	4,903
歳入合計		2,455	4,903

課題

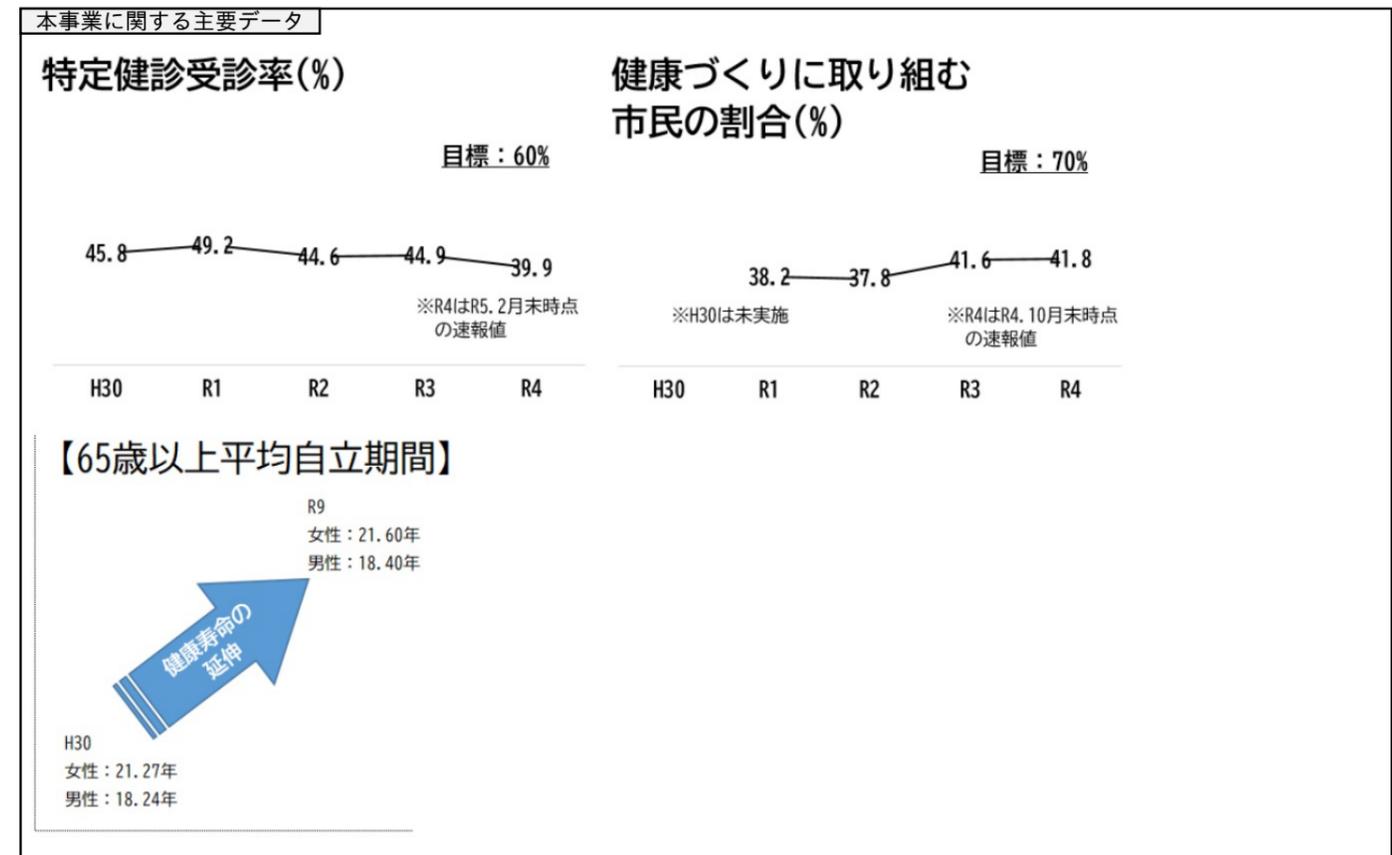
・令和5年春ごろに、「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」が国から示される見込み。
 ・全世代の健康づくりの推進のためには、全庁的な連携が必要である。
 ・市民の声を反映した計画を策定する必要がある。

方向性

・国が示す基本的な方針を勘案し、第3期基本計画を策定する。
 ・関係課への実績値等の照会を通じ、全庁的な連携を図る。
 ・地域ヒアリングやパブリックコメントを通じて、市民の声が反映された計画とする。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり（食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策）の推進

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月中旬	計画策定支援業務受注者選定、契約	11月中旬	第3回策定委員会開催
	7月中旬	第1回策定委員会開催	12月	パブリックコメント実施
	8月	地域ヒアリング実施	1月下旬	第4回策定委員会実施、最終案
	9月下旬	第2回策定委員会開催	適宜	庁内関係課連絡会



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	312		
需用費	50		
役務費	41		
委託料	4,500		
事業費計		4,903	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	自然に健康になれるまち推進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	自然に健康になれるまち推進事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	多くの市民が日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのための環境をつくる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		健康づくりに取り組んでいる市民（%）	41.8	65	65	65
	目標（何を達成するのか）					
幼児期から体操に触れることで運動習慣のきっかけづくりとし、健康づくりに取り組む市民を増やす。						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	エクササイズの名義募集	随時	健康づくりにエクササイズを活用
	5月	エクササイズの名義の決定・公表		
	7月～9月	CD、DVD制作・配布		
	7月～8月	名義決定PR動画配信		

事業概要	<p>（数値目標の目標年度） 健康づくり（運動・スポーツ）に取り組んでいる市民の割合（%）：2029（R11）年度 ※「まちづくりのための市民アンケート」より、R4実績見込は速報値 ・松江市の歌に合わせたエクササイズの普及を図り、市民の健康づくりに役立てていく</p>
------	--

本事業に関する主要データ				
<p>出典：国保データベース（KDB）システム 運動習慣のない人の割合 → 運動習慣のない人の割合が男性・女性ともに全国と比較して高くなっています。</p> <p>令和3年度</p>				
項目	男性（%）		女性（%）	
	松江市	全国	松江市	全国
1回30分以上の運動習慣なし	58.9	56.7	67.3	61.7
1日1時間以上の運動なし	55.3	48.2	57.2	47.7

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> エクササイズ完成 エクササイズの動画作成 動画を松江市の健康公式チャンネルで配信 お披露目イベント ※12/14スサノオマジックホームゲームのハーフタイム 	<ul style="list-style-type: none"> エクササイズの名義を募集 エクササイズのPR動画作成・配信 体操の啓発用CD、DVDを作成し、保育所、幼稚園、小学校等での普及を図る 地域の健康づくりイベント等で活用する 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園、小学校等での普及を図る 地域の健康づくりイベント等で活用する
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		3,200	685
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,200	685
歳入合計		3,200	685

課題	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸のためには、生活習慣病予防が重要である。 運動習慣のない人の割合が、男女ともに全国平均よりも高い。 生活習慣の改善意欲は高いが、行動を始めている人は少ない。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市民が楽しみながら健康づくり（運動・スポーツ）に取り組める環境づくりを推進する。 地域でのイベントや、市内の保育所・幼稚園の行事等で、エクササイズの活用を呼びかける。
----	---	-----	--

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	32		
役務費	9		
委託料	644		
事業費計			685

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部介護保険課	一般介護予防事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	運動・認知機能の低下や社会参加の機会の減少等によって虚弱になることを防ぎ、要介護状態にならないよう、介護予防活動に取り組む。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		からだ元気塾の参加者数（人）	824	1,100	1,150	1,200
	目標（何を達成するのか）	なごやか寄り合い参加者数（人）	5,000	10,000	10,500	11,000
健康づくりと介護予防の取り組みを推進し、健康寿命の延伸を図る。						

事業概要	<p>①からだ元気塾 運動器・認知機能向上のため、市内35会場で週1回開催する運動教室。</p> <p>②なごやか寄り合い 各地区の公民館や集会所で健康講座やレクリエーション等を開催する高齢者の通いの場。</p> <p><その他取り組み> ・歯つらつ健口教室 ・オーラルフレイルを予防するため、口腔機能の維持・向上するための教室。市内歯科医院で全2回受講。 ・リハビリテーション専門職派遣 通いの場や介護施設に専門職を派遣。専門職による介護予防に関する評価・指導・助言を通じて、地域における介護予防の取組強化を図る。</p>
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>○からだ元気塾 ・参加者数 824人（男性 68人、女性 756人）<R5年2月末時点> ・個別周知（認定非該当、要支援者、65、75歳到達者） ・介護予防番組の内容更新 ○なごやか寄り合い事業 ・参加者数は、年度末集計 ・事業評価、再開、新規会場立ち上げの支援強化 ・専門職派遣、事業対象者の抽出・啓発 ○参加勧奨・普及啓発 ・65、75歳到達者や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発 ・各種データ分析による課題抽出・事業検討</p>	<p>○からだ元気塾 ・個別周知（認定非該当、要支援者、65、75歳到達者） ・介護予防番組の内容更新 ○なごやか寄り合い事業 ・事業評価、新規会場立ち上げのための候補地域選定 ・中止している会場の再開支援 ・専門職派遣、事業対象者の抽出・啓発 ○参加勧奨・普及啓発 ・65、75歳到達者や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発 ・各種データ分析による課題抽出・事業検討 ○その他 ・日常生活圏域ニーズ調査結果の分析（ニーズ、対象者把握）</p>	<p>○なごやか寄り合い事業 ・新規会場立ち上げ、既存会場の継続支援 ○参加勧奨・普及啓発 ・節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発 ○その他 ・日常生活圏域ニーズ調査結果によって把握された対象者へ啓発強化</p>
	<p>達成度</p> <p>4 計画目標に向け進捗は遅れている</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	41,115,350	42,075,670
	国・県支出金	19,294,477	19,849,062
	地方債	6,431,492	6,616,354
	その他	7,684,381	7,905,254
	一般財源	7,705,000	7,705,000
歳入合計		41,115,350	42,075,670

課題	方向性
<p>・両事業とも男性の参加割合が低い。（からだ元気塾の男性参加者は1割未満） ・前期高齢者は男女ともに参加率が低い。 ・新型コロナウイルスの影響により、参加を控える人や開催を中止している団体がある。（R2は4割、R3は3割、R4は2割が中止） ・からだ元気塾は高齢者数の増加に対し新規参加者数が比例して伸びていない。 ・なごやか寄り合い事業は、地域によって参加率・実施箇所数共に差がある。</p>	<p>・前期高齢者に係る関係機関や関係者に対する事業周知を行い、関係者を通じて案内することできっかけ作りを図る。 ・からだ元気塾は参加者増に向け周知強化（メディア活用、個別通知等）を図り、事業効果や認知度向上につなげる。 ・なごやか寄り合い事業は、参加率や実施箇所数が少ない地域に再開の働きかけ（支援）を行うなど、通いの場の活動拠点を増やす。</p>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	一般介護予防事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	からだ元気塾（各地域で開催）	通年	おうち元気塾（年間を通じてマールで放送）
	通年	なごやか寄り合い（各地域で開催）		
	通年	歯つらつ健口教室（各医療機関で開催）		
通年	リハビリテーション専門職派遣事業			

本事業に関する主要データ																																																																																																																																															
<p>①からだ元気塾</p> <p>・開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">参加者</th> <th rowspan="2">実施場所数</th> <th rowspan="2">実施回数</th> </tr> <tr> <th>実人員</th> <th>延人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>727</td><td>19,173</td><td>35</td><td>1,615</td></tr> <tr><td>H30</td><td>772</td><td>20,339</td><td>37</td><td>1,711</td></tr> <tr><td>R1</td><td>845</td><td>21,621</td><td>37</td><td>1,622</td></tr> <tr><td>R2</td><td>705</td><td>13,147</td><td>36</td><td>1,211</td></tr> <tr><td>R3</td><td>785</td><td>21,661</td><td>36</td><td>1,876</td></tr> <tr><td>R4</td><td>824</td><td>20,589</td><td>36</td><td>1,753</td></tr> </tbody> </table> <p>※R4は、R5年2月末時点の実績値</p> <p>・参加者の傾向（性別・年代）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別/年代</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>女性</td><td>90.9%</td><td>92.5%</td><td>90.5%</td><td>91.7%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>2.5%</td><td>2.3%</td><td>2.2%</td><td>2.9%</td></tr> <tr><td>70代</td><td>32.8%</td><td>34.2%</td><td>35.8%</td><td>27.4%</td></tr> <tr><td>80代</td><td>50.7%</td><td>50.6%</td><td>48.7%</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>90代</td><td>4.9%</td><td>5.5%</td><td>3.9%</td><td>7.6%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>9.1%</td><td>7.5%</td><td>9.5%</td><td>8.3%</td></tr> <tr><td>60代</td><td>0.6%</td><td>0.3%</td><td>0.9%</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>70代</td><td>2.4%</td><td>2.3%</td><td>2.7%</td><td>2.3%</td></tr> <tr><td>80代</td><td>5.3%</td><td>4.4%</td><td>5.0%</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>90代</td><td>0.8%</td><td>0.6%</td><td>0.9%</td><td>1.1%</td></tr> </tbody> </table> <p>※R4は、R5年2月末時点の実績値</p>	年度	参加者		実施場所数	実施回数	実人員	延人員	H29	727	19,173	35	1,615	H30	772	20,339	37	1,711	R1	845	21,621	37	1,622	R2	705	13,147	36	1,211	R3	785	21,661	36	1,876	R4	824	20,589	36	1,753	性別/年代	R1	R2	R3	R4	女性	90.9%	92.5%	90.5%	91.7%	60代	2.5%	2.3%	2.2%	2.9%	70代	32.8%	34.2%	35.8%	27.4%	80代	50.7%	50.6%	48.7%	53.8%	90代	4.9%	5.5%	3.9%	7.6%	男性	9.1%	7.5%	9.5%	8.3%	60代	0.6%	0.3%	0.9%	0.0%	70代	2.4%	2.3%	2.7%	2.3%	80代	5.3%	4.4%	5.0%	4.9%	90代	0.8%	0.6%	0.9%	1.1%	<p>②なごやか寄り合い事業（R4は年度末集計）</p> <p>・開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">実人数</th> <th colspan="2">参加者</th> <th rowspan="2">実施箇所数</th> <th rowspan="2">開催回数</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H29</td><td>8,956</td><td>2,774</td><td>6,182</td><td>373</td><td>3,177</td></tr> <tr><td>H30</td><td>9,339</td><td>2,950</td><td>6,389</td><td>373</td><td>3,189</td></tr> <tr><td>R1</td><td>9,066</td><td>2,770</td><td>6,296</td><td>372</td><td>2,943</td></tr> <tr><td>R2</td><td>4,621</td><td>1,328</td><td>3,293</td><td>257</td><td>1,429</td></tr> <tr><td>R3</td><td>4,666</td><td>1,300</td><td>3,366</td><td>254</td><td>1,734</td></tr> </tbody> </table> <p>・参加者の傾向（性別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>女性</td><td>69.4%</td><td>71.3%</td><td>72.1%</td></tr> <tr><td>男性</td><td>30.6%</td><td>28.7%</td><td>27.9%</td></tr> </tbody> </table>	年度	実人数	参加者		実施箇所数	開催回数	男	女	H29	8,956	2,774	6,182	373	3,177	H30	9,339	2,950	6,389	373	3,189	R1	9,066	2,770	6,296	372	2,943	R2	4,621	1,328	3,293	257	1,429	R3	4,666	1,300	3,366	254	1,734	性別	R1	R2	R3	女性	69.4%	71.3%	72.1%	男性	30.6%	28.7%	27.9%
年度		参加者				実施場所数	実施回数																																																																																																																																								
	実人員	延人員																																																																																																																																													
H29	727	19,173	35	1,615																																																																																																																																											
H30	772	20,339	37	1,711																																																																																																																																											
R1	845	21,621	37	1,622																																																																																																																																											
R2	705	13,147	36	1,211																																																																																																																																											
R3	785	21,661	36	1,876																																																																																																																																											
R4	824	20,589	36	1,753																																																																																																																																											
性別/年代	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																											
女性	90.9%	92.5%	90.5%	91.7%																																																																																																																																											
60代	2.5%	2.3%	2.2%	2.9%																																																																																																																																											
70代	32.8%	34.2%	35.8%	27.4%																																																																																																																																											
80代	50.7%	50.6%	48.7%	53.8%																																																																																																																																											
90代	4.9%	5.5%	3.9%	7.6%																																																																																																																																											
男性	9.1%	7.5%	9.5%	8.3%																																																																																																																																											
60代	0.6%	0.3%	0.9%	0.0%																																																																																																																																											
70代	2.4%	2.3%	2.7%	2.3%																																																																																																																																											
80代	5.3%	4.4%	5.0%	4.9%																																																																																																																																											
90代	0.8%	0.6%	0.9%	1.1%																																																																																																																																											
年度	実人数	参加者		実施箇所数	開催回数																																																																																																																																										
		男	女																																																																																																																																												
H29	8,956	2,774	6,182	373	3,177																																																																																																																																										
H30	9,339	2,950	6,389	373	3,189																																																																																																																																										
R1	9,066	2,770	6,296	372	2,943																																																																																																																																										
R2	4,621	1,328	3,293	257	1,429																																																																																																																																										
R3	4,666	1,300	3,366	254	1,734																																																																																																																																										
性別	R1	R2	R3																																																																																																																																												
女性	69.4%	71.3%	72.1%																																																																																																																																												
男性	30.6%	28.7%	27.9%																																																																																																																																												

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
09 その他保険料	498,510		
13 委託料	41,577,160		
事業費計		42,075,670	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部リサイクル都市推進課	分別啓発事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	地球温暖化対策事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ごみの分別を徹底し、減量化・資源化を促進するため、市民や事業者に対し、啓発活動をゆい、ごみの分別推進を図る	項目（成果指標） 数値目標にそぐわない	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	市民や事業者のごみの減量化・資源化を図る					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	出前講座と環境学習の開催		

事業概要	<p>○子ども用ごみの分別啓発パンフレットを作成し、松江市内の小学校4年生の環境学習資料や親子学習、各種クラブの子ども達を対象に分別啓発を行うために準備する。（エコクリーン松江、西持田リサイクルプラザ、エコステーション松江、川向リサイクルプラザ）</p> <p>○ごみの分別を啓発するため、ITCを利用した市民向けツールの普及。</p>
------	--

本事業に関する主要データ	

事業計画	R4実績見込			R5計画			R6計画		
	出前講座	7地域団体	77名	出前講座	10地域団体	180名	出前講座	10地域団体	180名
	環境学習	2小学校	120名	環境学習	10小学校	220名	環境学習	10小学校	220名
	達成度								
1	計画目標に向けて順調に推移								

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		1,053	694
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		694
	一般財源	1,053	0
歳入合計		1,053	694

課題	新形コロナ感染症の影響で、出前講座や環境学習の開催を控えている現状がある。	方向性	少人数での対応やオンライン形式での開催を検討する。
----	---------------------------------------	-----	---------------------------

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	694		
事業費計		694	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	ブルーカーボン活用事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	海草や海藻、水草等によって吸収される二酸化炭素（ブルーカーボン）を活用したカーボンオフセットにより、二酸化炭素の吸収促進にあわせ、地域振興や産業振興、環境保全につながる取組を確立する。	項目（成果指標） 成果指標になじまない。	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする（カーボンニュートラルの実現）。					

事業概要	市内水域（日本海・宍道湖・中海・大橋川・松江堀川 等）におけるブルーカーボンのポテンシャルを踏まえて地産地消モデルを構築する。
------	---

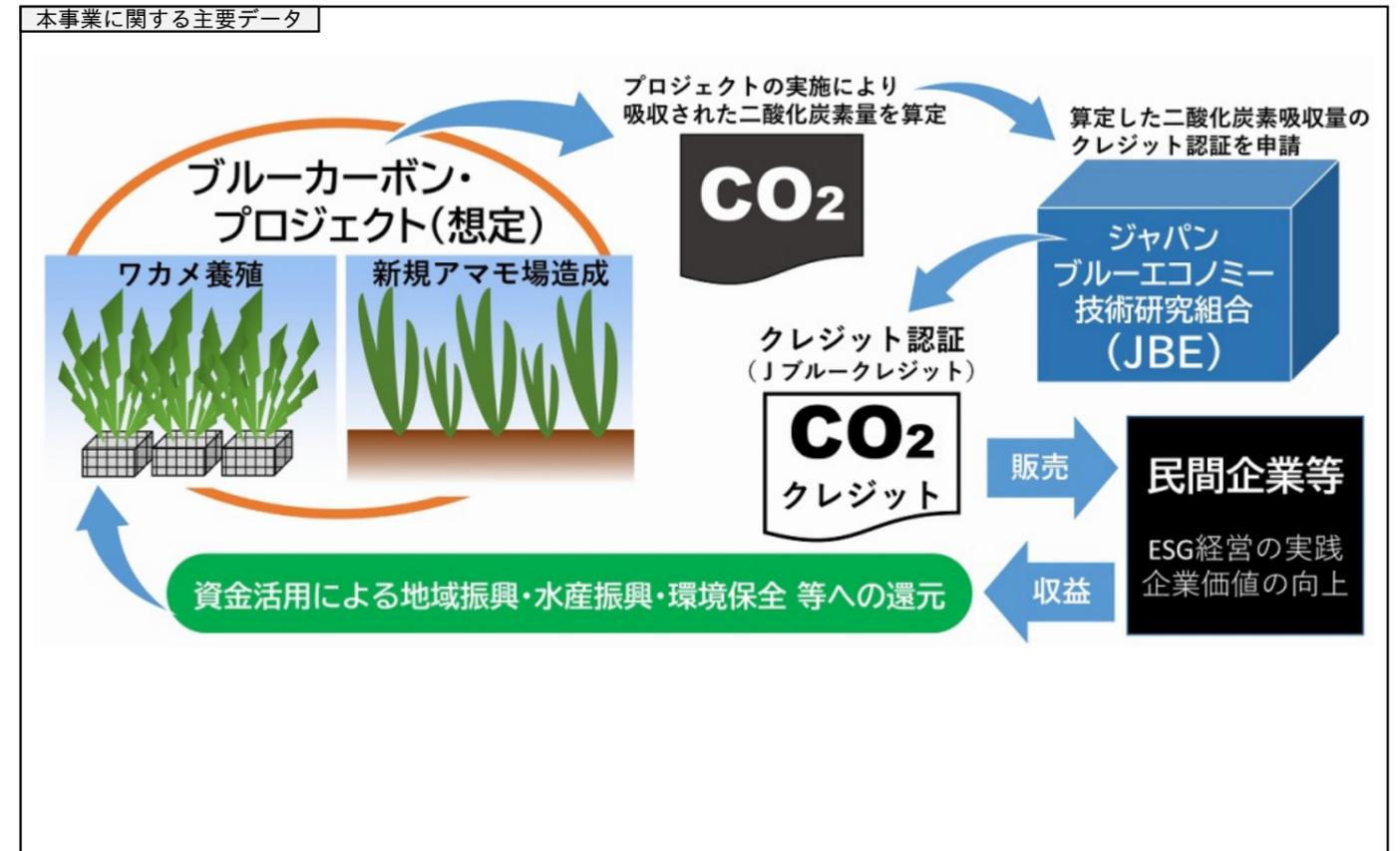
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○対象事業の詳細調査 ○全体構想の設計 ○オフセット制度のスキーム構築 	<ul style="list-style-type: none"> ○ブルーカーボンによる地産地消モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・プレイヤーの支援 [日本海] <ul style="list-style-type: none"> ・定着ワカメによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けての申請などを支援 ・シジミ殻の有効活用による藻場ブロックの可能性調査 [宍道湖] <ul style="list-style-type: none"> ・回収したヨシやシジミ殻を製品化するための支援 ・ワークショップの開催 [中海] <ul style="list-style-type: none"> ・アマモによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けての支援 ・周辺自治体との広域連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ブルーカーボンによる地産地消モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・プレイヤーの支援 [日本海] <ul style="list-style-type: none"> ・定着ワカメによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けての申請などを支援 ・シジミ殻の有効活用による藻場ブロックの可能性調査 [宍道湖] <ul style="list-style-type: none"> ・回収したヨシやシジミ殻を製品化するための支援 ・ワークショップの開催 [中海] <ul style="list-style-type: none"> ・アマモによるCO2吸収固定効果のクレジット化に向けての支援 ・周辺自治体との広域連携
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,500	3,641
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	5,500	3,641
	一般財源	0	0
歳入合計		5,500	3,641

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○国の認証制度の確立 ○海藻等の生育に必要な期間の確保 ○藻場造成エリアの選定 ○プレイヤーの確保（漁業者・自治会・NPO・行政等） 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ブルーカーボン・オフセットの実現に向けた支援 ○クレジット認証による地域振興や産業振興、環境保全につながる取組の推進
----	---	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	ブルーカーボン活用事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5～3月	事業検討業務委託		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,641		
事業費計			3,641

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	カーボンニュートラル推進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	カーボンニュートラル推進事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	ゼロカーボンシティの実現に対する市民理解の拡大と具体的活動の実践に向け、市民・事業者・行政の協働による取組を推進する。	項目（成果指標） 成果指標になじまない	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする。（カーボンニュートラルの実現）					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月・11月	カーボンニュートラルセミナーの開催		

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「まつえ環境市民会議」のメンバーを中心とし、カーボンニュートラルの取組を実践する。 ○エコカーの普及や住宅・事業所における省エネルギーの推進のための市民セミナーを開催する。 ○取組の見える化を進め、具体的な取組を全市に拡大する。
------	---

本事業に関する主要データ

カーボンニュートラルの実践に向けた市民セミナー
親子でまなぶ **カーボンニュートラル** 参加費 無料

2050年カーボンニュートラルに向け、地球温暖化対策は「待ったなし」の状況です。カーボンニュートラルの基盤から実践まで、私たちができることは何かを一緒に勉強しませんか。子どもにも分かりやすく解説します。

(仮)カーボンニュートラルのための
○○○○

3/18 SAT
13:30~15:00

会場 くにびきメッセ6階大会議室
講師 株式会社脱炭素化支援機構/JICN
経営企画グループマネージャー **飯野 暁氏**

定員 100名(定員を超えた場合は抽選とします)
申込方法 ①メールに必要事項を記載して下記アドレスまでお送りください。
申込アドレス matsue@shiminkaigi.jp
(記入事項)メールのタイトルは「セミナー申込」と記載
メール本文に氏名・住所・電話番号を記載し送信
②記載のQRを読み取り電子申請にて申し込む
申込締切 3月10日(金)締切後3日以内に参加の可否をメールで返信します

【主催】まつえ環境市民会議・松江市
〒690-0826 松江市学園南一丁目20-43
TEL. 0852(25)0881

電子申請用QR

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ○市民セミナーの開催（エコカー、省エネルギー住宅） ○誰もが自由に利用できるセミナーツールの開発（テキストや動画等のセミナー開催ツールを開発し、オープンデータとして公開） 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民セミナーの開催（エコカー、省エネルギー住宅、再生可能エネルギー、カーボンオフセットなど） ○誰もが自由に利用できるセミナーツールの更新（テキストや動画等のセミナー開催ツールを必要に応じて更新し、オープンデータとしてその都度公開） 	<ul style="list-style-type: none"> （エコカー、省エネルギー住宅、再生可能エネルギー、カーボンオフセットなど） ○誰もが自由に利用できるセミナーツールの更新（テキストや動画等のセミナー開催ツールを必要に応じて更新し、オープンデータとしてその都度公開）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	2,361	1,361
	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	2,361	1,361
	一般財源	0	0
歳入合計		2,361	1,361

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	1,361		
事業費計			1,361

課題	<ul style="list-style-type: none"> ○参画する企業・団体等の集約 ○具体的活動の実践内容 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○幅広い関係者と連携・協働し情報・課題・認識を共有する。 ○企業・団体等それぞれの取組に対し協力・補完しつつ、自らの行動の向上を促進する。 ○取組の見える化を進める。
----	---	-----	---

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部大橋川治水・国県事業推進課	水辺の利活用促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	中心市街地において賑わいが失われている大橋川周辺の水辺空間のリノベーションを進め、持続可能な利活用の仕組みをつくるとともに、人と人とのつながりが広がり賑わいのある水辺空間の創出を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） 「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」に関連する事業を実施し、賑わいやまちあるぎ動線の創出を図り、あるきたくなるまちを目指す。	水辺の公共空間活用日数（日/年）	174	174	175	175
		水辺が利用しやすいと感じる市民割合（%）	37	58	60	70

事業概要	<p>【かわまちづくり計画に基づくソフト・ハード施策の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ミズベリング縁日など水辺の利活用普及推進イベントの実施 民間活用（河川空間のオープン化）社会実験の実施 水面利用ルールの策定 千鳥南公園の再整備及び国による親水護岸整備との協議・調整
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ミズベリング松江協議会の運営（構成団体の利活用促進、部会ミーティングの開催） 利活用普及推進イベント（岸公園「ミズベリング縁日」） 民間活用社会実験（白潟公園「水辺のマーケット」ほか） 水面利用ルールの関係者協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 利活用普及推進イベント（岸公園「ミズベリング縁日」） 民間活用社会実験（白潟公園ほか） 水面利用ルールの関係者協議・調整・策定 	<ul style="list-style-type: none"> ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 利活用普及推進イベント（岸公園「ミズベリング縁日」） 民間活用社会実験 水面利用ルールの運用
	達成度		
	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,800	3,800
	国・県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	3,800	3,800
	一般財源	0	0
	歳入合計	3,800	3,800

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> L字ラインの回遊性向上と中心市街地の活性化のため、水辺の利活用（ソフト）に加え、大橋川改修に合わせた連続的な歩行空間・水辺空間の整備（ハード）が必要。 河川空間のオープン化のための民間プレイヤーの発掘・育成と持続可能な運営体制の確立が必要。 水面利用ルール策定にあたり、関係者の利害調整が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 白潟地区都市構造再編集中支援事業で魅力的な歩行空間・水辺空間を整備する。 オープン化社会実験を継続し、民間プレイヤーの発掘・育成を図る。 関係者総意によるルールを策定し、水面利用の促進を図る。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	水辺の利活用と回遊性を高めるかわまちづくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	ミズベリング松江協議会会議	10月	ミズベリング縁日（岸公園）
	4月～3月	協議会構成団体の水辺利活用促進		
	4月～3月	水面利用ルールの協議・調整・策定		
	6月～2月	民間活用社会実験（白潟公園）		

本事業に関する主要データ

The image includes a map of the Kawamachi area in Matsuyama, Japan, highlighting the 'Kawamachi-zukuri' project zones. The map shows the area around the main river and various parks like Shirogata Park and Kaminan Park. To the right, there are several photographs showing community events, people enjoying the waterfront, and a night view of the area with colorful lights.

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,000		
負担金補助及び交付金	800		
事業費計			3,800

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部交通政策課	AIデマンドバス導入事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	AI（人工知能）の特性を發揮できる地区にAIデマンドバスを導入することで、柔軟な予約配車による利便性及び回遊性の向上、AIの特性による効率性の向上を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	大野・秋鹿地区、八雲・忌部地区、宍道地区にAIデマンドバスを導入し、地区を横断した運行による利便性の向上、域内の周遊移動促進、乗継拠点の追加設置による利便性向上を図る。	数値での目標設定になじまないため空欄				

事業概要	大野・秋鹿地区、八雲・忌部地区、宍道地区におけるAIデマンドバスの令和6年度運行開始に向けた調査・設計及び運行準備。
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	美保関宇井～境港間、八束～境港間のAIデマンドバス導入業務実施（令和5年4月より運行開始）	大野・秋鹿地区、八雲・忌部地区、宍道地区におけるAIデマンドバス導入準備。 ・現地調査、乗降場所選定 ・設計（基礎データ作成、システム動作確認等） ・地域公共交通会議 ・市民への事前周知	現時点では未定
達成度			
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	14,902	40,720
	国・県支出金	9,866	23,498
	地方債	0	
	その他	0	0
	一般財源	5,036	17,222
歳入合計		14,902	40,720

課題	既存交通事業者（特にタクシー事業者）との棲み分け。	方向性	地元の意向をもとに、AIデマンドバス導入地区の拡充を検討していく。
----	---------------------------	-----	-----------------------------------

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	公共交通を補完する新たな交通手段の導入

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～3月	調査・設計及び運行準備		

本事業に関する主要データ

- AIデマンドバス導入（令和6年度運行開始予定）
- 導入メリット 柔軟な予約配車による利便性、回遊性の向上（大野・秋鹿、八雲・忌部、宍道地区）
鉄軌道（一畑電車、JR）との親和性向上（大野・秋鹿、宍道地区）

大野・秋鹿地区

二地区融合による利便性・回遊性の向上

八雲・忌部地区

二地区融合による利便性・回遊性の向上

宍道地区

乗降エリア

Legend: 乗降エリア (Transfer Area), 一畑電車 (Ichihashi Electric Railway)

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	150		
委託料	40,570		
事業費計		40,720	

所属	事業名
都市整備部都市政策課	J R 松江駅前整備検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	JR松江駅から殿町周辺までのL字ラインの賑わいの動線をつくるため、駅周辺エリアの拠点性を高め、賑わいの創出を図る。	項目（成果指標） 数値目標になじまない	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	松江駅前が人々が集う「松江の顔」となるよう、広場の整備等の再生にかかる事業手法を検討をする。					

中心市街地エリアビジョン（R4年3月策定）では、松江駅周辺ゾーンについて、「多くの来訪者が憩い集う松江の玄関」と位置づけており、南北駅前広場の機能の再配置や、駅から歩きたくする空間や店舗の繋がりの創出に向けた検討を進める。駅周辺エリアの機能配置などについて、関係者間の調整を図りつつ再生に向けて取り組む。

【R5 実施事業】整備イメージの作成
官民の関係者により行う意見交換会等の資料として、駅前周辺エリアの整備イメージを作成する。

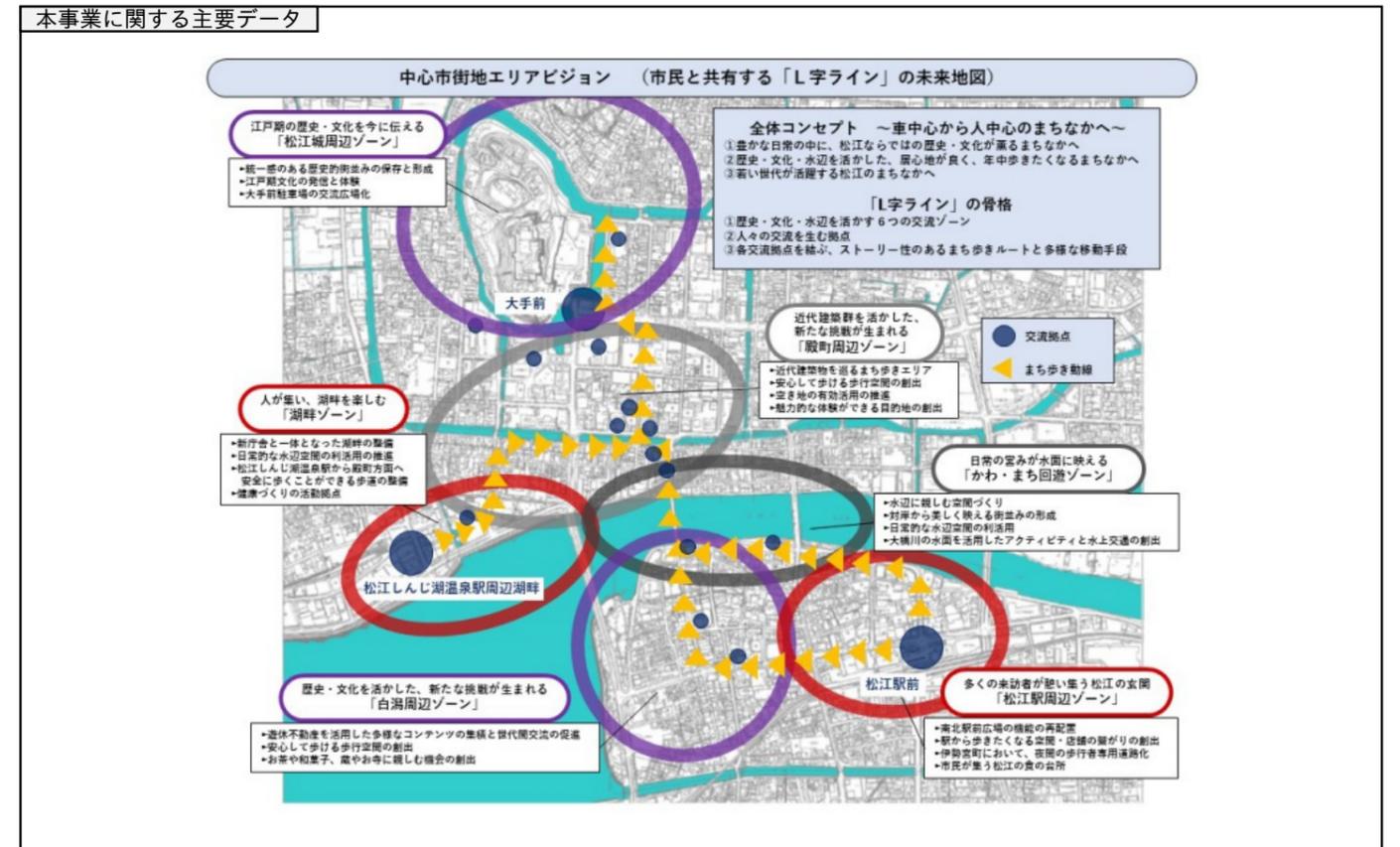
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地エリアビジョンを踏まえた意見交換 事業手法等の検討、整理 	<ul style="list-style-type: none"> 事業手法等の検討、整理 整備イメージの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 事業手法等の検討、整理
	達成度		
	2	計画目標に向かって概ね順調	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		2,070
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,070
歳入合計		0	2,070

課題	方向性
<p>バスターミナルやタクシー乗り場が大部分を占め、来街者が交流できる賑わいスペースが不足しているため、機能の再配置を行い、限られたスペースの中でもわかりやすく、魅力的な機能を充実させる必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> エリアの目指すべきまちの姿（機能配置）を整理する。 目指すべきまちの姿に近づけるために官民がそれぞれ取り組む事項を整理する。 各取組事項について事業手法等を整理する

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくするまちなみがある
	主要施策	まちなかにおける賑わい拠点づくり

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～3月	事業手法等の検討、整理		
	8月	業務委託による整備イメージの作成		
	10月～3月	関係者との意見交換		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,070		
事業費計			2,070

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	松江湖畔公園再整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等に隣接する松江湖畔公園の立地特性を踏まえ、多くの市民や観光客の憩いの場や水辺の賑わいを創出していく。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、松江湖畔公園の将来の利用形態を見据えた再整備を行うことで、水辺や市街地の賑わいを創出していく。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要
「新庁舎整備事業」及び「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」と連携を図り、宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、観光客や日常湖岸や公園を利用される市民のための利便性・快適性の向上を目的とした公園整備について、松江湖畔公園（千鳥南公園・末次公園）の再整備基本計画を策定し、整備工事を実施する。

本事業に関する主要データ

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	松江湖畔公園（千鳥南公園）実施設計	松江湖畔公園（末次公園）基本計画策定 松江湖畔公園（千鳥南公園）トイレ増設設計、黒松移植等工事	
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	12,645	49,670
	国・県支出金		6,500
	地方債		5,800
	その他		
	一般財源	12,645	37,370
歳入合計		12,645	49,670

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	6,300		
工事請負費	43,370		
事業費計			49,670

課題
松江湖畔公園の再整備にあたり、「かわまちづくり支援制度」を活用し、市民が利活用しやすい水辺空間の創出や民間活力を活かした水辺の賑わいづくりに関連して、公募設置管理制度等の民間活力の導入に向けた検討や新庁舎整備事業(末次公園再整備)との調整が必要となってくる。

方向性
水辺の利活用として「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」と新庁舎整備事業の進行スケジュールとの調整を図りながら、水辺の賑わいづくりを創出していくため、松江湖畔公園（千鳥南公園・末次公園）の再整備について、検討を行っていく。

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	子どもたちが遊びたくなる公園づくり事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「子どもの生活に直結した安心安全なまちづくり」に向け、いつでも安心・安全に利用できる公園とするため、公園の遊具等の修繕を行い、子育て環境日本一を目指す。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	使用禁止遊具解消の徹底を図り、公園利用者を増やす。					

事業概要	子ども連れの方をはじめ、あらゆる市民の皆様がいつでも安心・安全に利用できる公園とするため、現在、使用禁止措置としている遊具の早期解消を優先に、年次的に更新、修繕を進めていく。
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> ■遊具の修繕・廃止（33基） ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託（40件） 	<ul style="list-style-type: none"> ■遊具の修繕・廃止（33基） ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託（40件） 	
	<p>達成度</p> <p>1 計画目標に向けて順調に推移</p>		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		87,810	89,946
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債	25,500	21,400
	その他	54,294	49,495
	一般財源	8,016	19,051
歳入合計		87,810	89,946

課題	子ども連れの方など市民に身近な公園において、使用禁止遊具が増加しており、公園の利用がしづらくなっている。	方向性	「松江市みどりの基本計画」で示している「利用しやすい公園、行きたくなる公園、魅力ある公園づくり」のため、重点的に使用禁止遊具の対応を行い、早期に解消を行う。具体的には、令和5年度より、使用禁止遊具を発見次第、迅速に修繕対応できる概数発注方式を試験的に導入する。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	概数発注方式による新規に発生した使用禁止遊具の修繕対応		

本事業に関する主要データ				
■使用禁止遊具の修繕計画				
対応実績		R5.1月末時点	対応年度	
令和3年度	令和4年度	使用禁止遊具※	令和5年度	令和6年度
66	33	33	33	0
※点検や通報により、新たに修繕が必要な遊具が発見された場合には、対応数が増となる。				

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	4,807		
委託料	61,458		
工事請負費	23,681		
事業費計		89,946	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	公衆トイレ整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「選ばれるまち松江」を将来像に掲げ、国際文化観光都市である松江市のイメージアップを図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		数値目標とすることに馴染まない。				
目標（何を達成するのか）						
	市民や観光客にとって利用しやすいトイレ環境としていく。					

事業概要
 現在、松江市において「多目的トイレ」の整備を行う際、「松江市ひとにやさしいまちづくり条例」で定められた基準に基づき実施している。しかし、公衆トイレの状況を踏まえた全市的な整備方針はないため、それぞれの所管課で整備を進めている状況である。この度、具体的な優先整備ゾーンや実施期限等を「松江市公衆トイレの整備計画～みんなのためのトイレづくり～」で定め、子ども連れの方や、障がいのある方、観光客などあらゆる市民や観光客の皆様にとって利用しやすい公衆トイレの環境を構築していく。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	■トイレ改修 工事 Cランク→Aランク 1箇所	■トイレ建替 工事 Dランク→Cランク 1箇所	
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		5,185	18,000
財源内訳	国・県支出金		9,000
	地方債	4,600	8,100
	その他		
	一般財源	585	900
歳入合計		5,185	18,000

課題	公衆トイレについては所管課が多岐にわたるため、事業実施にあたり整備順序等の調整が必要となる。また、計画の中で廃止するトイレも設定しているが、住民へ今回の計画を理解をしていただくための手法を検討していく必要がある。	方向性	関係課と調整を図りながら、平準化して整備が進むよう調整を図る。将来的に全市においてトイレ設置数が適正になるよう配置し、整備するトイレについてはその機能の拡充を図る。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,000		
工事請負費	17,000		
事業費計		18,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	公園のあり方検討事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	市内公園の魅力的な施設整備及び効率的な維持管理を行い、利用しやすい公園・行きたくない公園となるよう、市民ニーズを反映した将来の公園のあり方を検討する。	項目（成果指標） 数値目標とすることに馴染まない。	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	社会状況の変化に応じた都市公園などの見直しの視点から、公園機能の充実を図り、人口減少に対応した公園機能の見直しと再編の検討を進め、今後の松江市における公園整備基本方針を策定する。					

事業概要	魅力的な公園の整備・維持管理を行っていくため、公園に対する市民・利用者・民間事業者のニーズの調査・分析を行い。将来の公園のあり方を検討する。
------	--

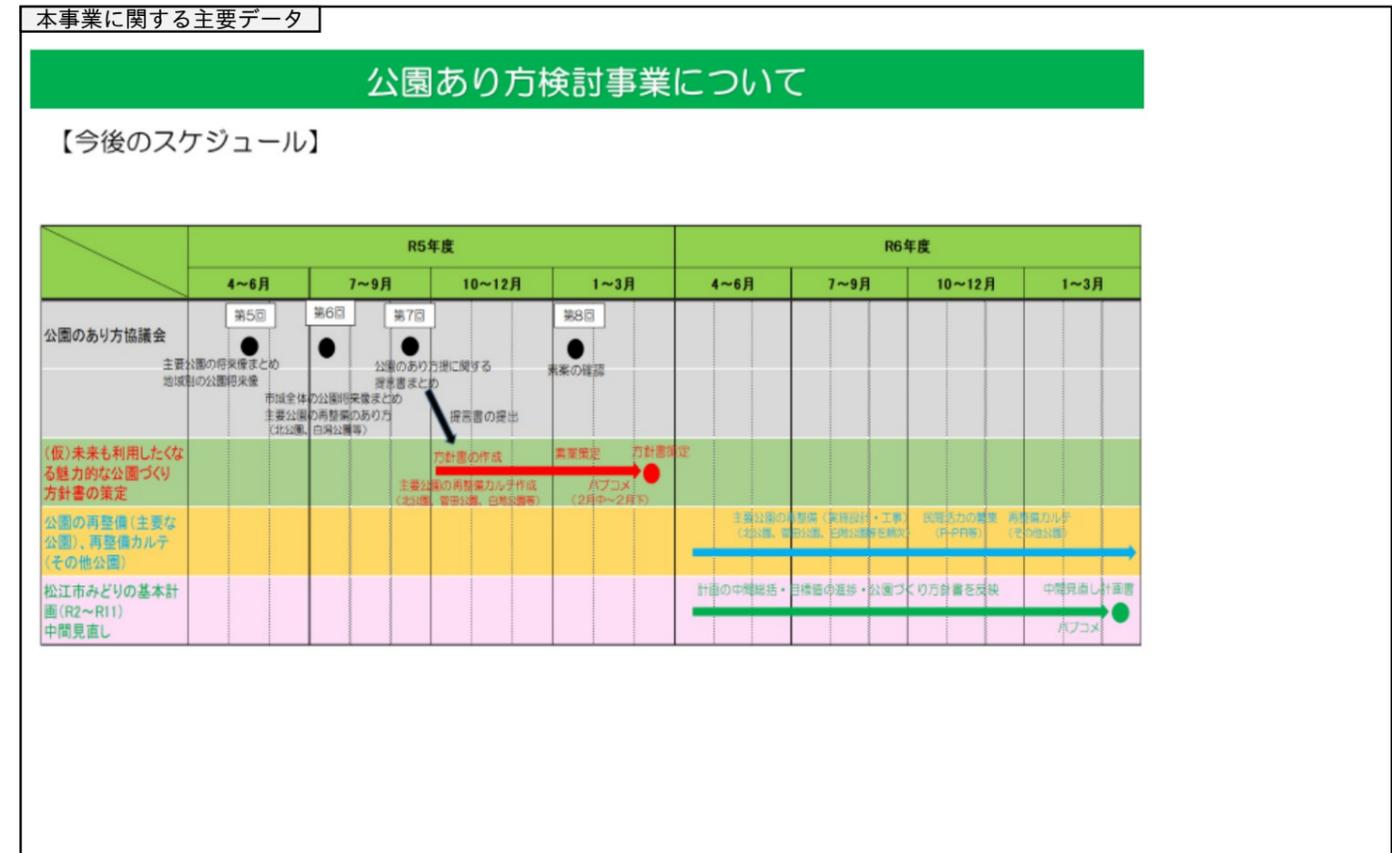
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	公園のあり方協議会の設置・開催 公園利用者へのアンケート調査、市民ニーズの分析	公園利用者へのアンケート調査（継続） 現状分析「（仮称）未来も利用したくなる魅力的な公園づくり」の方針を策定	方針に基づいた公園整備の実施、民間活力事業の募集
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費			14,047
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		10,000
	一般財源	0	4,047
歳入合計		0	14,047

課題	①小さな公園や古くなった公園のあり方 ②効率的・効果的な維持管理 ③遊具やトイレなどの老朽施設の更新 ④民間の収益で維持管理などを行う公園の仕組みづくり ⑤防災機能の整備による安心・安全な公園施設の充実	方向性	公園の再整備や魅力向上、民間事業者による運営管理の可能性の検討
----	---	-----	---------------------------------

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	公園のあり方検討事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月	第5回公園のあり方協議会開催	1月	第8回公園のあり方協議会開催
	7月	第6回公園のあり方協議会開催	1月～2月	方針書素案の策定、パブリックコメントの実施
	9月	第7回公園のあり方協議会開催	3月	方針書策定
	10月～12月	方針書の作成		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	264		
委託料	13,783		
事業費計		14,047	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部建築審査課	空き家利活用・適正管理促進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	○利活用や適正管理が行われていない空き家の減少を図ることで、地域の活性化及び安心して暮らし続けられる住環境を確保する。 ○老朽空家等の周辺の生活環境を回復し、安全に安心して生活できる環境を確保する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		空き家バンク新規登録件数（件）	8	30	30	30
		空き家バンク等による活用件数（件）	20	42	44	44
「第2次松江市空家等対策計画」に基づき、空き家バンクや空き家関連補助事業等により、空き家の利活用と適正な管理の促進を図る。	老朽空家等に対する措置（件）	4	5	6	6	

【数値目標の目標年度】
空き家バンク新規登録件数：2029(R11)年度、空き家バンク等に活用件数：2026(R8)年度、老朽空家等に対する措置：2026(R8)年度

【事業内容】
○空き家に関する相談支援事業（空き家に関する様々な相談にワンストップで対応できる相談窓口を設置する。）
○空き家バンク事業（空き家の所有者と購入希望者のマッチングを行う。）
○中古木造住宅改修及び除却支援事業（中古木造住宅の取得者が行う改修や除却に対しその費用の一部を補助する。）
○老朽空家等改善指導及び除却支援事業（老朽空家等の所有者に対し、必要な措置を講ずるよう指導を行う。また、所有者が除却をする際の除却費の一部を補助する。）
○空き家再生等推進事業（空き家を地域活性化のための交流施設などに活用に対する改修費の一部を補助する。）
○小規模住宅団地整備支援事業（小規模団地の開発者に対して開発道路整備費や既存空き家除却費の一部を補助する。R2年度からは、中心市街地のみならず、郊外拠点部も対象とする。）
○空き家対策総合整備支援事業（空き家を除却し跡地を地区の交流スペースや防災空地の利用に対する除却費の一部を補助する。）
○松江市空家等対策協議会（本市に必要な施策等について協議する。）

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 50件 ○空き家バンク事業 登録 8件、成約 5件 ○中古木造住宅改修・除却支援 改修 15件、建替除却 6件 ○老朽空家等の除却支援 4件 ○小規模住宅団地整備支援 2件	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 50件 ○空き家バンク事業 登録 30件、成約 26件 ○中古木造住宅改修・除却支援 改修 16件、建替除却 12件 ○老朽空家等の除却支援 5件 ○空き家再生等推進支援 1件 ○小規模住宅団地整備支援 1件	○空き家に関する相談支援事業 問題解決件数 50件 ○空き家バンク事業 登録 30件、成約 26件 ○中古木造住宅改修・除却支援 改修 18件、建替除却 20件 ○老朽空家等の除却支援 7件 ○空き家再生等推進支援 2件 ○小規模住宅団地整備支援 1件
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	17,876	19,279
国・県支出金	5,153	5,870
地方債	0	0
その他	1,000	800
一般財源	11,723	12,609
歳入合計	17,876	19,279

課題	方向性
(1)「空き家バンク」登録物件の成約率は80%以上と高いが、登録件数が少ないため、登録物件を増やし、空き家や中古住宅の流通を促進する必要がある。 (2)「空き家バンク」を含め各補助事業の周知が不足している。	(1) 空き家バンクの成約数を伸ばして利活用を促進するため、「①空き家相談窓口での相談者や出前講座・終活セミナーなどの受講者への働きかけ」、「②空き家の利活用に関する冊子の作成・配布」などを行っていく。 (2) 市ホームページや市報での広報のほか、各地区の実情に合った情報発信を行っていく。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	空き家・空き店舗などの有効活用によるまちづくりの推進

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	空き家バンク事業および各種補助事業		
	通年	利活用可能な空き家の活用促進（所有者への活用案内）		
	通年	老朽空家等の所有者への除却等の管理に関する指導		

本事業に関する主要データ

空き家バンク事業の実績 (単位：件数)

	H25~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度見込み	合計
登録件数（売買）	48	4	8	9	7	5	8	89
成約件数（売買）	39	7	7	7	6	4	5	75

中古木造住宅取得等支援事業補助金交付実績 (単位：件数)

	H21~H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度見込み	合計
改修	150	18	7	11	11	10	15	222
建替え除却	58	7	11	11	10	9	6	112
計	208	25	18	22	21	19	21	334

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,049	負担金補助及び交付金	14,850
職員手当等	409		
共済費	395		
旅費	24		
需用費	29		
役務費	91		
委託料	1,432		
事業費計			19,279

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
総務部総務課	交通安全対策事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	松江市交通安全対策会議を中心として、警察、各地区交通安全対策協議会等と連携し、市民に交通安全と交通事故防止を呼びかけることにより、「安心して安全なまちづくり」を実現する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	交通事故発生件数（件）	301	200	190	140
	「日本一交通事故のない県都松江」の実現	交通事故の少ない県庁所在市順位（位）	2	1	1	1

事業概要
 第11次松江市交通安全計画(R3～R7年度)に基づき施策を展開する。交通指導員、交通安全地区教育指導員等による地域住民への交通安全教育を実施し、地域ぐるみの交通安全対策を推進する。また、市内の事業所を「交通安全モデル事業所」に指定することで企業へも交通安全に対する意識づけを行い、交通事故防止のための取り組みを行う。

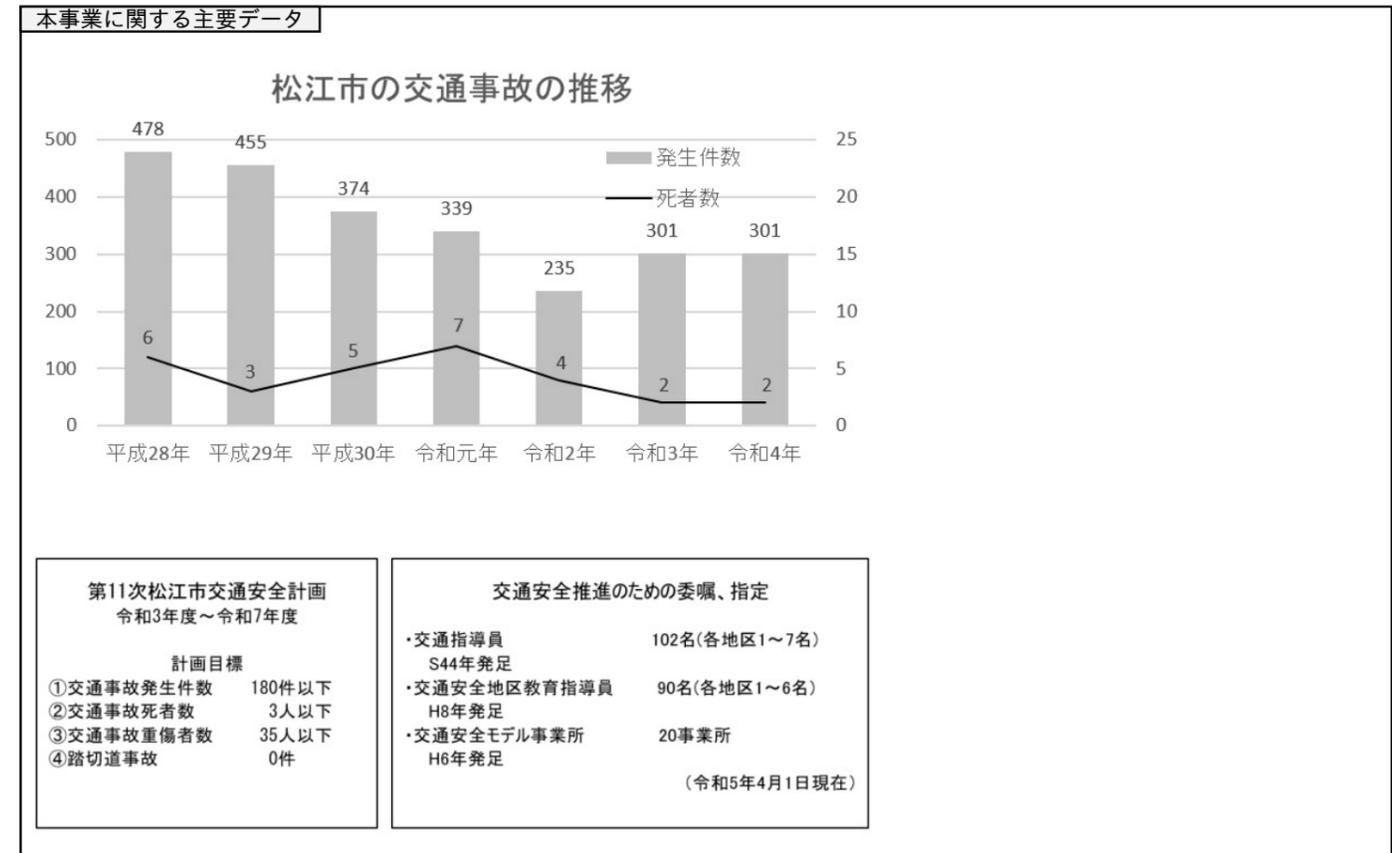
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開した。 交通事故発生件数は令和3年度と同数となったが、長期的にみると減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開する。 交通指導員による街頭指導 交通安全地区教育指導員による各地区、学校等における交通安全教室の実施 自転車マナーアップ運動の実施 交通安全モデル事業所の選定による安全運転管理体制の強化 	第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開する。
	達成度	等	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	19,210	19,876
	国・県支出金		
	地方債		
	その他	19,210	19,876
	一般財源	0	0
歳入合計		19,210	19,876

課題	各地区交通安全対策協議会、交通指導員、交通安全地区教育指導員等に、地域における交通安全対策の中心的役割を長年担っていただいているが、高齢化も進み、次世代の担い手確保に苦慮している。	方向性	引き続き警察や、地域の要である交通安全対策協議会等と連絡しながら、取り組んでいく。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	交通安全対策事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月・6月	交通安全対策会議幹事会・総会	4月～	交通指導員による街頭指導
	8月頃	交通安全対策連絡協議会総会	5月・9月	自転車マナーアップ運動
	9月頃	松江市交通安全功労者表彰式	随時	交通安全地区教育指導員等による交通安全教室
4月～	各地区交通安全対策協議会補助金による事業実施			



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,517	負担金補助及び交付金	2,697
職員手当等	525		
共済費	518		
報償費	12,687		
旅費	98		
需用費	645		
役務費	189		
事業費計		19,876	

令和5年度 総合計画実施計画

教育委員会教育総務課 揖屋小学校整備事業、揖屋小学校整備事業（継続費）

所属	事業名
教育委員会教育総務課	揖屋小学校整備事業、揖屋小学校整備事業（継続費）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	学校施設の長寿命化改良事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	児童の安全性の確保及び教育環境の改善を図る。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		屋内運動場 長寿命化進捗率（%）		100		100
	目標（何を達成するのか）	校舎 長寿命化進捗率（%）			40	100
老朽化が進む揖屋小学校校舎および屋内運動場の長寿命化を図るとともに新しい時代の学びや地域開放への対応、特別支援教育の充実を図る。	校舎 増改築進捗率（%）		30	70	100	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6月～3月	屋内運動場長寿命化工事		
	11月～翌8月	校舎増改築工事		

事業概要	(数値目標の目標年度)
	項目名 校舎長寿命化進捗率：2025(R7)年度
	項目名 校舎増改築進捗率：2024(R6)年度
	老朽化した校舎および屋内運動場を長寿命化改良し、あわせて今の時代に必要な機能を追加することで良好な教育環境等を持続的に確保する。
	令和3年度：現況調査、基本計画 令和4年度：地盤調査、実施設計 令和5年度：校舎増改築工事、屋内運動場長寿命化改良工事 令和6年度：校舎増改築工事、校舎長寿命化改良工事 令和7年度：校舎長寿命化改良工事

本事業に関する主要データ

＜揖屋小学校配置図＞

＜主な工事内容＞

- ☆ 躯体耐久性の向上（コンクリート強度の健全化等）
- ☆ 屋上防水
- ☆ 外壁改修
- ☆ 建具・内装改修
- ☆ 省エネ性能の向上
- ☆ 電気・機械設備の更新

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	・地盤調査および実施設計	・屋内運動場長寿命化改良工事 ・校舎増改築工事（1年目）	・校舎増改築工事（2年目） ・校舎長寿命化改良工事（1年目）
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	54,088	277,003
	国・県支出金	18,000	45,317
	地方債	35,700	224,000
	その他		
	一般財源	388	7,686
歳入合計		54,088	277,003

課題	長寿命化改良工事の前例が無いなか、老朽化の進行した施設の改修に加え、新しい時代の学びへの対応などの機能強化、工事中の児童の安全確保と学習環境の維持を図る必要がある。	方向性	工事内容、工事計画等について庁内関係課及び工事関係者、学校などと綿密な連絡や協議を行いながら事業を進める。
----	--	-----	---

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	40		
役員費	58		
委託料	545		
工事請負費	207,852		
（継続費）工事請負費	68,508		
事業費計		277,003	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館施設改修事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公民館施設の適正な維持管理	項目（成果指標） 数値目標になじまない。	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	施設の状況に応じて、計画的に改修等を行う。					

事業概要	老朽化等に伴い、公民館の施設・設備等の改修を行うもの。
------	-----------------------------

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画	
	<ul style="list-style-type: none"> 城東公民館／空調改修工事 忌部公民館／空調改修工事 法吉公民館／屋上防水改修工事 公民館非常用照明修繕工事 	予算額 34,514千円 ・竹矢公民館（高齢者等交流会館）／空調改修工事 3,858千円 ・城西公民館／空調改修工事 16,281千円 ・秋鹿公民館／空調改修工事 4,246千円 ・古志原公民館／屋根改修工事 10,129千円 【財源内訳】 ・緊急防災・減災事業債 24,300千円 ・公共施設等適正管理推進事業債 9,100千円 ・一般財源 1,114千円	<ul style="list-style-type: none"> 乃木公民館／空調改修工事 生馬公民館／屋上防水改修工事 	
	達成度			
1	計画目標に向けて順調に推移			

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		34,514
	国・県支出金		0
	地方債		33,400
	その他		0
	一般財源	0	1,114
歳入合計		0	34,514

課題	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進行している。 	方向性	<ul style="list-style-type: none"> 特定建築物定期点検等の設備の定期点検を通じて、施設の状況を把握し、計画的に改修等を行う。
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	公民館施設改修事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～11月	空調改修工事		
	5月～11月	屋上・屋根改修工事		

本事業に関する主要データ	
■S50年代	東出雲公民館/竹矢公民館/玉湯公民館（H27改修）/朝酌公民館/乃木公民館（H18改修） 美保関公民館/鹿島公民館（H27改修）/本庄公民館
■S60年代	大野公民館/忌部公民館/古志原公民館/秋鹿公民館
■H元年～10年	持田公民館/川津公民館/生馬公民館/八雲公民館（H25改修）/朝日公民館/城北公民館/八東公民館/（H29改修）
■H11年～20年	白湯公民館/法吉公民館/城東公民館/城西公民館/鳥根公民館
■H21年以降	雑賀公民館/津田公民館/大庭公民館/穴道公民館/古江公民館

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,892		
工事請負費	32,622		
事業費計		34,514	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	竹矢公民館整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	計画的な公民館の施設整備・更新	項目（成果指標） 数値目標になじまない。	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	竹矢公民館の建替え					

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内公民館で最も建築後の経過年数が長く、老朽化も進行している竹矢公民館を建て替えるもの。 建設場所は現公民館の同一敷地内（南西側）とし、形態は平屋建てとする。
------	--

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 建設委員会を開催（施設レイアウト、各室の機能要件、使用エネルギー等を検討） 基本設計 実施設計 地盤調査 	<ul style="list-style-type: none"> R5年度 353,203千円 公民館建設工事（令和5年7月着工～令和6年3月竣工予定）339,500千円 公民館消耗品購入 3,362千円 事務室等移転業務委託 800千円 建設工事工損調査 3,403千円 ゲートボール場整備工事 1,300千円 公民館備品購入 4,838千円【財源内訳】 一般単独事業債 173,600千円 電源立地地域対策交付金 108,000千円 島根県市町村振興資金貸付金 53,700千円 一般財源 17,903千円 	<ul style="list-style-type: none"> 現公民館解体工事設計及び解体工事
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		21,018	353,203
財源内訳	国・県支出金	17,000	108,000
	地方債		227,300
	その他		0
	一般財源	4,018	17,903
歳入合計		21,018	353,203

課題	現ゲートボール場代替地の確保	方向性	建設委員会で提示したスケジュール通りに事業を進める（R4年度：設計、R5年度：建設工事～竣工、R6年度：新公民館開設）
----	----------------	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	竹矢公民館整備事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～6月	契約		
	7月	着工		
	3月	竣工		

本事業に関する主要データ
<p>○(現)竹矢公民館の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築年月 昭和54年3月 構造等 鉄筋コンクリート2階建て 延床面積 559㎡ 対象区域 矢田町(一部地域を除く)、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町、青葉台 利用者数 10,676人(R3年度)、10,012人(R2年度)、22,032人(R元年度)、25,959人(H30年度)


R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	3,362		
委託料	4,203		
工事請負費	340,800		
備品購入費	4,838		
事業費計		353,203	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
消防本部消防総務課	現場指揮体制の構築

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	現場指導体制の構築

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	令和3年4月に発生した島根町加賀の大規模火災の教訓から、災害現場の司令塔となる指揮機能をさらに強化する必要があるとの認識に至り、指揮隊の早期整備を図るもの。	項目（成果指標） 指揮隊要員（人）	R4実績見込 2	R5計画 4	R6計画 8	目標値 8
	目標（何を達成するのか）					
	指揮隊の整備により、迅速に災害実態を把握し、その情報に基づく対応を決定し、また、消防隊や消防団への指示伝達系統が強化されることで、災害の早期終息を図ることができる。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	消防大学校指揮隊長コース	10月	社会人経験者採用試験
	6月	U・Iターン者（消防経験者）採用試験	11月	指揮隊先進地研修
	9月	消防吏員採用試験		
	10月	島根県消防学校部隊指揮研修		

事業概要	<p>令和3年4月に発生した島根町加賀の大規模火災では、情報の収集、活動方針の決定と各隊への伝達、消防職員・団員の安全管理、広報活動などが困難であったことから、専属指揮隊の整備及び充実・強化に取り組む。</p> <p>令和4年度は、北消防署警防隊に指揮担当職員を配置し指揮体制をスタートさせ、その後、職員採用による指揮隊要員の増員や研修による人材育成を図り、令和6年度中に専属指揮隊を整備します。</p>
------	--

本事業に関する主要データ

指揮隊設置に関する他都市の状況（アンケート結果）

○中核市（本部数）

指揮隊あり	54
指揮隊なし	6

※90%が指揮隊を設置

○人口20～30万人・職員数200～400人の対象本部

指揮隊あり	49
指揮隊なし	6

※89%が指揮隊を設置

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	北消防署警防隊に指揮担当職員を配置し、また、研修を通じ指揮隊要員の人材育成を図る。	北消防署に指揮隊要員4名を配置する。	令和6年度中に専属指揮隊を整備する。
	達成度		

1	計画目標に向けて順調に推移
---	---------------

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

課題	専属指揮隊を整備するためには、指揮隊要員の増員確保が必要である。	方向性	通常の消防吏員採用試験に加え、消防経験者を対象とした採用試験を新たに設けるなどし、指揮隊要員の確保を図る。
----	----------------------------------	-----	---

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
消防総務課	救急救命士の養成

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	救急救命士が救急車に常時乗車し、早期に救急救命処置を施すことが可能な体制を継続的に維持する必要がある。これにより、救急体制の充実、強化が図られ、救命率の向上を図ることが可能となる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	年間救急救命士養成者数（人）	3	3	3	3	
目標（何を達成するのか）	救急業務に従事する救急救命士を60名確保するため、計画的に救急救命士を養成確保する。					

事業概要	救急救命士を養成するために必要な「救急救命士養成課程研修」を職員に計画的に受講させ、救急救命士を養成する。
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	救急救命士3名養成	救急救命士3名養成	救急救命士3名養成
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		6,278	6,607
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	6,278	6,607
歳入合計		6,278	6,607

課題	救急救命士制度が発足し約30年が経過し、定年退職や管理職職員となる救急救命士数が出現していることから、継続的な救急救命士の養成確保が必須である。	方向性	救急業務に従事する救急救命士を60名確保するために、計画的に救急救命士を養成する。
----	--	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	救急救命士の育成強化（職員研修）

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	救急救命士養成研修所 前期日程入校（約半年）		
	9月	救急救命士養成研修所 後期日程入校（約半年）		
	3月	救急救命士 国家試験		

本事業に関する主要データ	
■救急救命士とは	救急救命士とは、厚生労働大臣の免許を受け、傷病者が病院に到着するまでの間に症状の悪化を防ぎ、生命の危険を避けるために医師から具体的な指示を受けながら救急救命処置を実施する救急隊員である。
■救急救命士が実施できる救命処置とは	救急救命士は、医師から具体的な指示を受けて次の救急救命処置が実施できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・器具を使用した気道確保 ・心肺停止状態の傷病者への点滴及び薬剤（アドレナリン）投与 ・重度低血糖発作傷病者へのブドウ糖溶液の投与 ・心肺停止前の重度傷病者（血圧が低下しているような傷病者）への点滴

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部大橋川治水・国県事業推進課	道路関係経費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	観光振興など地域経済の発展	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		山陰自動車道の県内供用率（%）	66	72	77	85
	目標（何を達成するのか）					
	国道・県道の整備促進					

事業概要

国・県道の整備促進を図るため、沿線市町等で構成する期成同盟会に参加し、国・県に対し、要望活動を実施する。

（主な同盟会）
 山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会
 国道432号（松江・安来間）改良促進期成同盟会
 島根県東部高速道路利用促進協議会
 境港出雲道路（松江北道路）建設促進期成同盟会
 出雲・美保間幹線道路整備促進期成同盟会 ほか

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画	
	○要望回数 ・中央、広島要望 14回（うち郵送等 2回） ・県要望 13回（うち郵送等 2回）	○要望回数 ・中央、広島要望 21回 ・県要望 14回	○要望回数 ・中央、広島要望 21回 ・県要望 14回	
	達成度	1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,876	2,526
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,876	2,526
歳入合計		1,876	2,526

課題

国・県ともに財政的に厳しい状況の中、道路事業予算全体は減少してきている。そのような中で、地域として考える道路整備の必要性や地域の実情を国・県の担当部局に理解してもらい、道路整備に必要な予算を確保し、箇所付けに反映させていく必要がある。

方向性

関連自治体や経済界とともに同盟会を組織し、地域の思いを要望書としてまとめ、国（国土交通省本省、中国地方整備局）・県（本庁、松江県土整備事務所ほか）の担当部局に伝え、松江市における国営・県営事業の予算化を実現する。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	地方分散の重要基盤である道路ネットワークの整備促進

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	期成同盟会総会、意見交換会等		
	通年	期成同盟会要望活動（中央、広島、島根県等）		

本事業に関する主要データ

令和5年度期成同盟会・協議会等一覧表

No.	期成同盟会・協議会等名	会 員	会長	市長役職	事務局	R4年度負担金			R5年度負担金			要望先	設立年度
						予算	決算	積算内訳	予算	積算内訳			
1	島根県東部高速道路利用促進協議会	松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町・島根県・島根県商工会議所連合会・島根県商工会連合会・島根県中小企業団体中央会・島根県商工大会・島根県商工協同組合中央会・島根県商工協会・島根県観光連盟・島根県連合婦人会・特別会員 国土交通省・西日本高速道路	松江市長	会長	松江市	307,000円	307,000円	松江市 均等割 54,000円 安来市 均等割 199,000円 IC割 54,000円	302,000円	松江市 均等割 54,000円 安来市 均等割 199,000円 IC割 49,000円	国交省 財務省 国会議員 ネクスコ西日本	H14	
2	境港出雲道路（松江北道路）建設促進期成同盟会	松江市・松江市議会・松江商工会議所・まつた北商工会・まつた南商工会・美保間幹線商工会・島根県農業協同組合くまびき地区本部・松江建設業協会・島根県トラック協会・島根県旅客自動車協会・松山中央新聞社・島根県商工大会・松江青年会議所・島根県商工協会・松江旅館ホテル組合	松江市長	会長	松江市	150,000円	150,000円	松江市 150,000円 安来市 均等割 30,000円 その他負担 10,000円	150,000円	松江市 150,000円 松江市商工会連 均等割 30,000円 その他負担 10,000円	国交省 国会議員 県	H24	
3	国道432号（松江・安来間）改良促進期成同盟会	松江市・安来市・各市議会（議長及び担当委員長）（顧問 各選挙区県議）	松江市長	会長	松江市	150,000円	60,000円	松江市 60,000円 安来市 均等割 60,000円 （307万割により前年の割）	150,000円	松江市 150,000円 安来市 150,000円	国交省 財務省 国会議員	S56	
4	国道432号改良促進期成同盟会 ※松江・竹原間	庄原市・松江市・安来市・奥出雲町・府中市・世羅町・三原市・東広島市・竹原市・各市町議会議長（顧問 各選挙区県議）	庄原市長	副会長	庄原市	145,200円	141,400円	松江市 均等割 5,000円 延長割 7,400円 事業割 129,000円	165,700円	松江市 均等割 5,000円 延長割 7,400円 事業割 153,300円	国交省 財務省 国会議員	S56	
5	山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会	大田市・松江市・浜田市・出雲市・益田市・江津市・安来市・各市議会・島根県商工会連合会・島根県商工会議所連合会（顧問 島根県議）	大田市長	副会長	大田市	468,000円	468,000円	松江市 均等割 88,000円 人口割 380,000円	468,000円	松江市 均等割 88,000円 人口割 380,000円	国交省 財務省 国会議員	S61	
6	出雲・美保間幹線道路整備促進期成同盟会 ※国道431号、境港出雲道路	出雲市・松江市・出雲市議会・松江市議会・松江商工会議所・出雲商工会議所・平田商工会議所・まつた北商工会・まつた南商工会・出雲市商工大会・出雲市商工協会・松江商工大会・島根県農業協同組合くまびき・出雲・豊川各地区本部（顧問 松江、出雲選挙区県議）	出雲市長	副会長	出雲市	90,000円	90,000円	松江市 90,000円 出雲市 90,000円	210,000円	松江市 210,000円 出雲市 210,000円	国交省 国会議員	S63	
7	松江安来新見間国道界格期成同盟会 ※安来位太日南線、新見日南線 ※市 広瀬土木事業所長、日野橋土木課課長、橋中農具地場建設課長	安来市・松江市・新見市・日南町・各市町議会（顧問 安来、新見、日野選挙区県議）	安来市長	理事	安来市	35,000円	17,500円	市 17,500円 町 12,500円 （307万割により前年の割）	35,000円	市 35,000円 町 25,000円	島根県 鳥取県 岡山県	S50	
8	松江・安来・雲南圏域幹線道路改良整備促進期成同盟会 ※松江木次線、安来木次線、大東東出雲線	雲南市・松江市・安来市・奥出雲町・各市町議会（顧問 各選挙区県議）	雲南市長	副会長	雲南市	30,000円	12,000円	松江市 均等割 2,000円 延長割 10,000円 （307万割により前年の割）	30,000円	松江市 均等割 5,000円 延長割 25,000円	県	H18組織 再編3期 盟会合併	
9	主要地方道玉湯吾妻山線改修促進期成同盟会	奥出雲町・松江市・雲南市・各市町議会（顧問 各選挙区県議）	奥出雲町長	副会長	奥出雲町	21,000円	8,000円	松江市 均等割 4,000円 延長割 4,000円 （307万割により前年の割）	21,000円	松江市 均等割 10,000円 延長割 11,000円	県	S47	
10	中国国道協会	中国地方99市町村	福山市長	会員	福山市	60,000円	60,000円	市 60,000円 町村 30,000円	60,000円	市 60,000円 町村 30,000円	国交省 財務省 国会議員	H2	
合 計						1,456,200円	1,313,900円	—	1,591,700円	—	—	—	

◆賛助会員

広島空港北アクセス道路 （広島中央フライトロード）推進協議会	世羅町・三原市・府中市・三次市・庄原市・各市町議長（顧問 各選挙区県議） 賛助会員（R1～） 松江市・出雲市・大田市・安来市・雲南市・奥出雲町・福山市・川本町・美郷町・島根町	世羅町長	賛助会員	世羅町	負担金なし	負担金なし	—	負担金なし	—	国交省 財務省 国会議員 広島県議会	H4
-----------------------------------	--	------	------	-----	-------	-------	---	-------	---	-----------------------------	----

R5節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
旅費	828		
需用費	5		
役務費	17		
使用料及び賃借料	84		
負担金補助及び交付金	1,592		
事業費計			2,526

令和5年度 総合計画実施計画

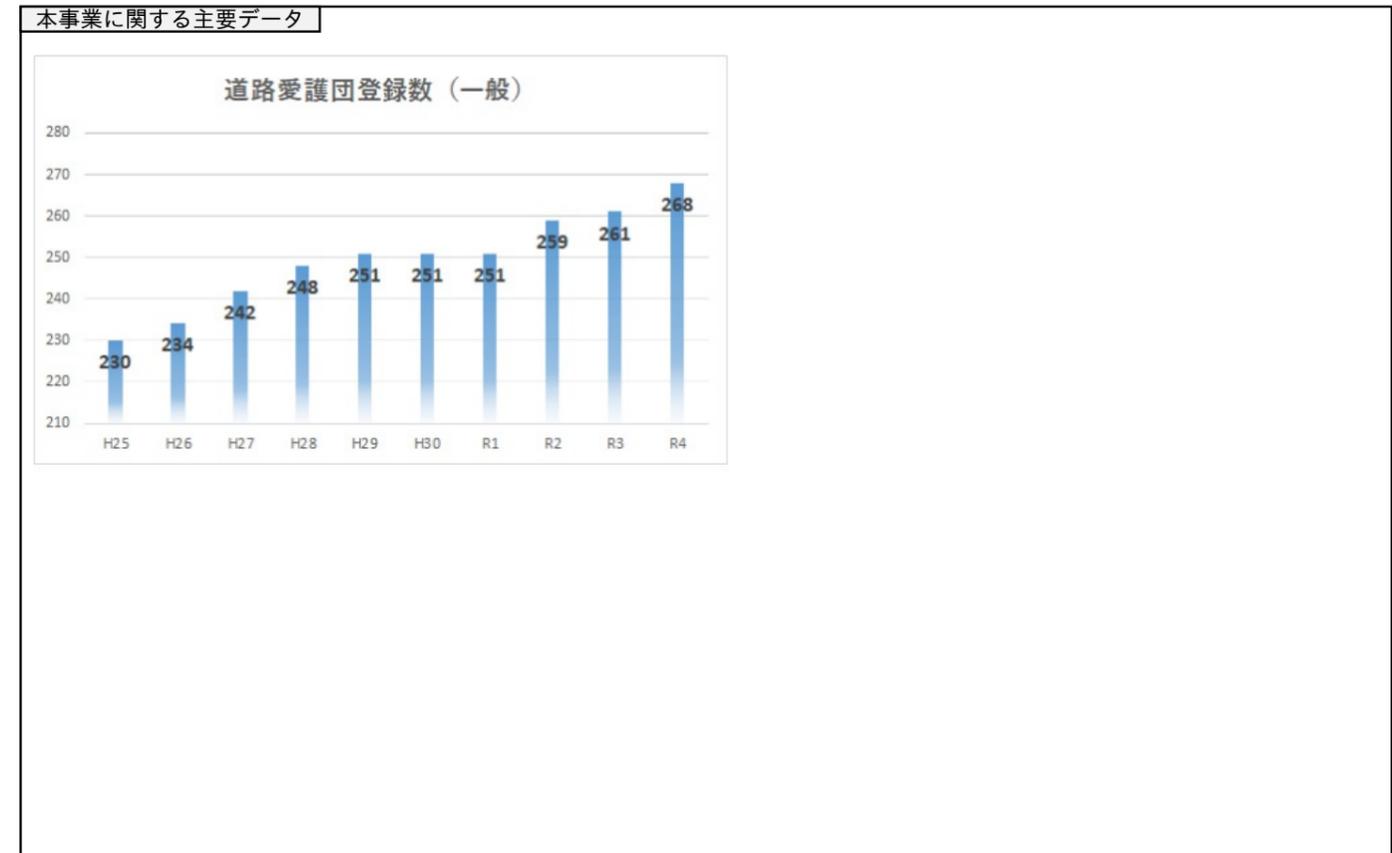
所属	事業名
都市整備部道路課	道路愛護団経費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	道路維持管理

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	住民自らが住みやすい生活環境を保全するよう努めることを目的に、松江市の管理する道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行う団体を支援するもの。	項目（成果指標） 道路愛護団登録数（一般）	R4実績見込 268	R5計画 269	R6計画 270	目標値 275
	目標（何を達成するのか）					
	住民自らが道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行うことにより、道路の環境美化の達成と活動により地域コミュニティを図れる。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

事業概要	市民団体が行う市道等の道路美化、沿道草刈、側溝清掃に対して市が委託料を支出するもの
------	---



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	道路愛護団登録数（一般） 268団体	道路愛護団登録数（一般） 269団体	道路愛護団登録数（一般） 270団体
	達成度 2 計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	15,017	14,939
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	15,017	14,939
歳入合計		15,017	14,939

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	227		
委託料	14,712		
事業費計			14,939

課題	近年、高齢化により作業実施が困難になってきている団体があり、登録抹消する団体もある。今後も高齢化が進むことで、さらに抹消する団体が増える懸念がある。	方向性	登録している団体に引き続きの登録を呼びかけるとともに、新規団体へのPRを推進し、登録団体数の増加を目指す。
----	--	-----	---

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部河川課	河川浄化事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	河川浄化事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	河川環境保全活動の一環として、地域住民・地元企業等による河川愛護団活動を行うことにより、河川愛護精神の高揚を図り、住民自らが住み良い生活環境の保全に努めることを目的とする。	項目（成果指標） 愛護団登録団体数	R4実績見込 155	R5計画 163	R6計画 164	目標値 169
	目標（何を達成するのか）					
	河川愛護団登録団体数の増加					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	実施計画の提出		
	5月～12月	河川堤防除草作業		
	通年	河川愛護団登録に向けた周知活動		

事業概要	河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草作業等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川の環境保全にかかる経費については、島根県との協働により1/2の県単独補助がなされる。
------	---

本事業に関する主要データ



一般愛護団（玉湯川）



企業愛護団（北田川）



一般愛護団（東生馬川）



企業愛護団（朝酌川）

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	愛護団登録団体数：155団体	愛護団登録団体数：163団体	愛護団登録団体数：164団体
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	43,543	45,136
	国・県支出金	21,383	23,350
	地方債		
	その他		
	一般財源	22,160	21,786
歳入合計		43,543	45,136

課題	河川愛護団・愛護団構成員の高齢化による人員の減少及び活動の中止・縮小が懸念される。	方向性	河川愛護団・自治会、地域ボランティア団体などに向け、広く河川愛護団制度を周知し、新規登録に向けた取り組みを行っていく。
----	---	-----	---

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	80		
役員費	2,504		
委託料	38,395		
工事請負費	4,157		
事業費計		45,136	

令和5年度 総合計画実施計画

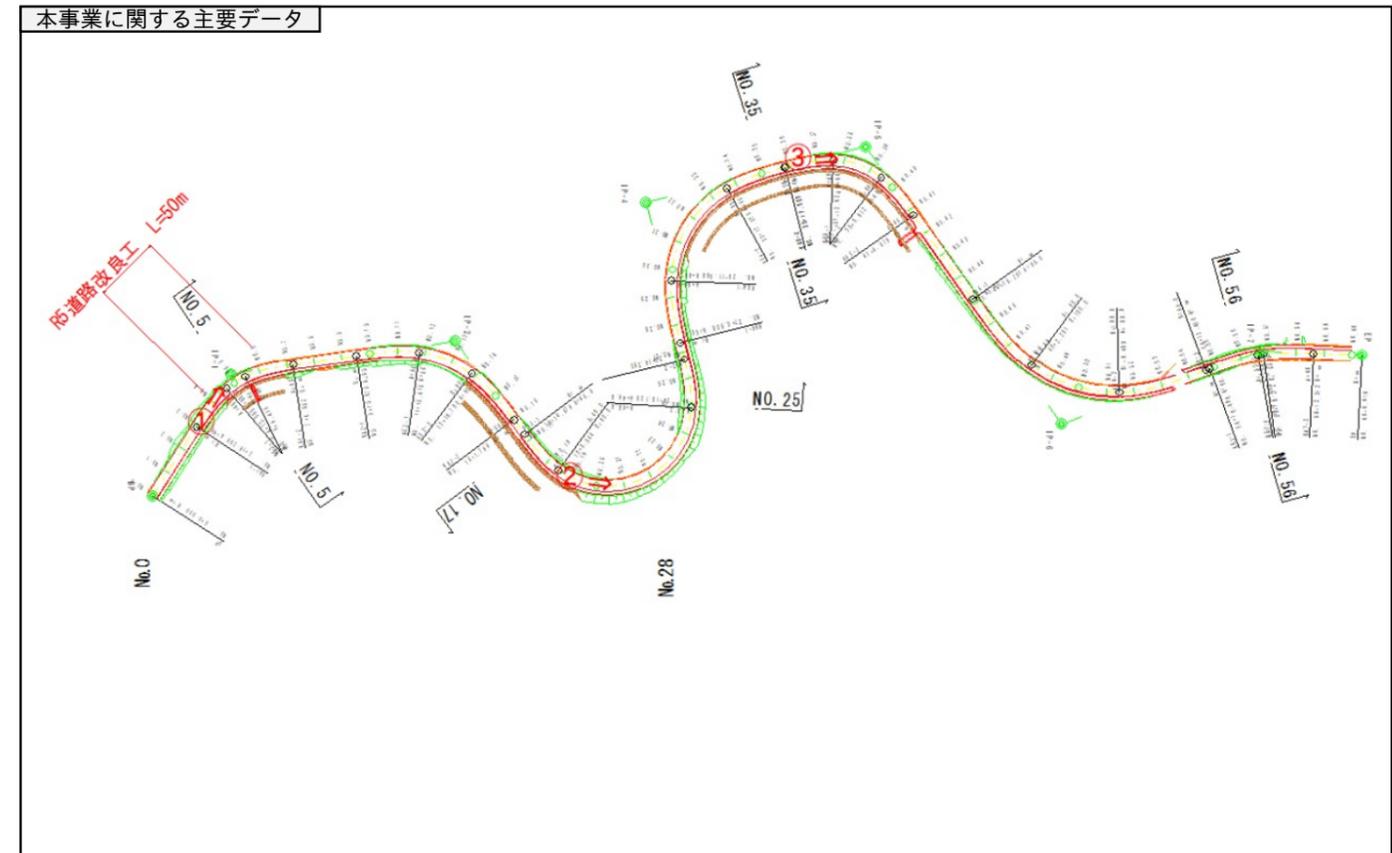
所属	事業名
都市整備部道路課	通学路緊急対策事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	歩道新設を含めた拡幅改良を行い、安全な通学路を確保する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		整備延長（m）	40	50	60	1,200
	目標（何を達成するのか）	累計供用延長（m）	0	50	110	1,200
整備延長1,200m（幅員9.25m）						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	交付申請		
	10月～3月	道路改良工事		

事業概要
 京都・亀岡市での凄惨な通学路事故等を受け、教育委員会・防災安全部・道路管理者(国・県・市)・警察・学校・地元が一堂に会して実施した合同点検の結果、対策が必要と判断した箇所の緊急対策を行う。
 対象交付金：防災・安全社会資本整備交付金（パッケージ11）対象路線：市道役場深原線



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	改良工事 L=40m（暫定） （供用延長） （目標値 1,200m） （予定 0m）	改良工事 L=50m （供用延長） （目標値 1,200m） （予定 50m）	改良工事 L=60m （供用延長） （目標値 1,200m） （予定 110m）
	達成度 1 計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		25,000
	国・県支出金		13,750
	地方債		10,100
	その他		0
	一般財源	0	1,150
歳入合計		0	25,000

課題
 本路線と並行して流れている一級河川桑並川への、拡幅に伴う張り出し歩道等の占用が生じる。
方向性
 河川管理者である島根県と協議により調整を図り事業を進める。

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	24,500		
補償補填及び賠償金	500		
事業費計		25,000	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	自転車ネットワーク道路整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	第5次歩道整備計画に基づく自転車ネットワーク道路整備を行い、歩行者・自転車双方の安全を確保する。あわせて、環境配慮や渋滞緩和を目的として自転車利用を推進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		整備済延長(k m)	13.1	13.3	13.5	35.5
	目標（何を達成するのか）	整備率（%）	36.9	37.5	38.0	100
菅田比津線 整備延長(2,000m・両側)他6線の自転車通行帯整備 計画総延長35.5km						

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	交付申請・交付決定		
	7月～3月	自転車通行帯工事		

事業概要	(数値目標の目標年度) 自転車道整備事業94.3%：2029(R11)年度
	自転車ネットワーク計画に基づき、未整備路線に自転車の通行環境整備を行う。通行量の多い路線について、自転車通行帯を分離し、自転車及び歩行者の安全確保と自転車利用を推進する。



事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	菅田比津線 自転車通行帯工事 297m(両側)	菅田比津線 自転車通行帯工事 200m(両側)	菅田比津線 自転車通行帯工事 200m(両側)
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	30,000	30,000
	国・県支出金	16,500	16,500
	地方債	12,100	12,100
	その他	0	0
	一般財源	1,400	1,400
歳入合計		30,000	30,000

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	30,000		
事業費計		30,000	

課題	城下町特有の狭い街路によって整備が進めづらいうえ、歩行者や自転車など多様な利用における使い勝手の悪さや景観上の問題などがある。また、狭い現道上での工事となるため制約も多く割高な工事となっていることから、限られた予算の中で整備延長を延ばすことが困難。	方向性	補助制度を活用して財源を確保し、自転車ネットワーク道路の未整備区間の整備を進めると共に、中心市街地での自転車移動の回遊性を高め、自転車の安全な通行区間を整備する。
----	--	-----	---

令和5年度 総合計画実施計画

都市整備部道路課 子どもたちを守る交通安全対策事業費（補助（緊急対策含む）、単独）

所属	事業名
都市整備部道路課	子どもたちを守る交通安全対策事業費（補助（緊急対策含む）、単独）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	道路管理者として、通学路及び未就学児が日常的に移動する経路で危険が認められる箇所の対策工事を実施し、通学生徒及び未就学児が安全に通学・移動できる道路交通環境の整備を行うもの。	項目（成果指標） 整備箇所数（未就学児移動経路）（箇所）	R4実績見込 1	R5計画	R6計画	目標値 74
	目標（何を達成するのか）	整備箇所数（通学路（歩道））（箇所）	3	3	5	
	危険箇所の改良整備による通学路及び未就学児の移動経路の安全確保	整備箇所数（通学路・交安施設）（箇所）	100	100		

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	要望個所の交通安全対策工事	2月～3月	各要望書の回答
	通年	測量・調査・設計業務委託		
	4月～7月	各小・中学校、交通安全協議会からの要望書提出		
	8月～1月	各要望個所の現地確認及び評価		

事業概要	<p>通学路及び未就学児が日常的に移動する経路の交通安全を確保するため、関係機関との危険箇所の抽出・点検・対策検討を行い、交通安全対策が必要な箇所について対策工事を実施し、安全の確保に向けた道路交通環境の改善を図る。</p> <p>【対策必要箇所の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未就学児移動経路 ※R4で全箇所対策済み <ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策事業 全74箇所（（R1）大津市での未就学児が巻き込まれる事故がきっかけ） 通学路 <ul style="list-style-type: none"> 歩道整備計画路線 ○要望に基づく対策 交通安全施設 <ul style="list-style-type: none"> ○要望に基づく対策
------	---

本事業に関する主要データ

令和4年度実績

・防護柵設置工事（宍道町）



対策前

↓

対策後

・工業高校東1号線（古志原四丁目）



対策前

↓

対策後

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<p>【未就学児移動経路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策事業 1箇所 <p>【歩道整備計画路線(3箇所)継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西持田大田線 橋梁上部工工事 新町・須田線 道路改良工事 工業高校東1号線 道路改良工事 <p>【通学路】</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部区画53号線 測量調査設計業務委託 ハサラ沼5号線 測量調査設計業務委託 ○要望個所対策 55箇所 <p>【交通安全施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要望個所対策 45箇所 	<p>【歩道整備計画路線(3箇所)継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西持田大田線 橋梁上部工工事 新町・須田線 道路改良工事 工業高校東1号線 道路改良工事 <p>【通学路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハサラ沼5号線 設計業務委託、道路改良工事 古志原香南台線 歩道新設工事 ○要望個所対策 50箇所 <p>【交通安全施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○要望個所対策 50箇所 	
	達成度	2	計画目標に向かって概ね順調

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	17,000		
工事請負費	113,400		
事業費計			130,400

歳入・歳出の推移(単位：千円)	R4	R5
	決算見込	当初予算
事業費	137,224	130,400
国・県支出金	61,783	60,720
地方債	58,700	53,600
その他	2,953	0
一般財源	13,788	16,080
歳入合計	137,224	130,400

課題	<p>○毎年度、新たな要望が多数出てくるが、限られた予算の中で全てを対策するのは困難な状況である。</p> <p>○年々事業費の確保が困難化しており、危険度合など優先順位をつけて対策を行う必要がある。</p>	方向性	<p>○抽出された箇所の危険度や重要度に応じて、対応方法を工夫しながら少しでも多くの箇所を対策実施する。</p>
----	--	-----	--

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	要配慮者支援推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	要配慮者（高齢者や障がいのある方など）が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていくために、平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作ること（要配慮者支援組織の設置）を目的とするもの。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		世帯カバー率（%）（※1）	43.3	70	70	70.0
	目標（何を達成するのか）					
令和5年度に世帯カバー率70%を目標とする。						

事業概要	要配慮者（高齢者や障がいのある方など）が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていけるよう、地域コミュニティ（共助）を活用した平常時及び災害時の支援体制を構築することを目的に、各地域の実情に応じた要配慮者支援組織の立ち上げを推進している。その支援組織の立ち上げ並びに運営について補助を行うもの。
	<p>○これまでの経過 平成23年度から要配慮者支援組織の設置を推進してきている。平成28年度には、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者（※2）名簿を作成し、平成29年度には、平常時から名簿情報の提供について同意のあった避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者（※3）が地域内の配慮者の把握に活用できるよう提供を開始した。</p> <p>（※1）世帯カバー率：組織の活動範囲に含まれる世帯数／住基世帯数</p> <p>（数値目標の目標年度） 要配慮者支援組織世帯カバー率：2029（R11）年度</p>

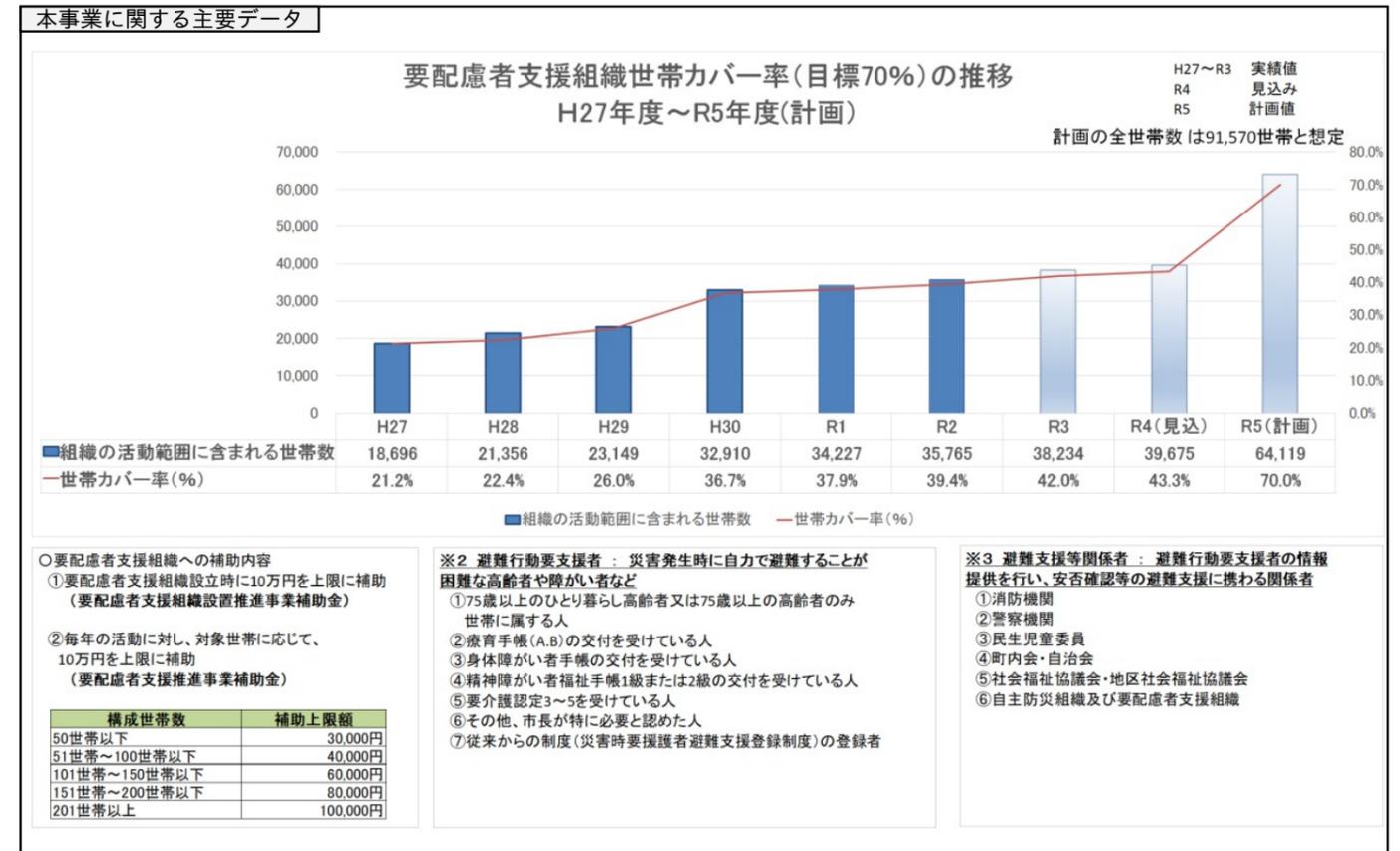
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	令和4年度 世帯カバー率43.3%	令和5年度 世帯カバー率70%	令和6年度 世帯カバー率70%
	新規設置組織数 1組織		
	累計設置組織数 211組織		
達成度			
3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		10,209	12,282
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	1,237	1,236
	一般財源	8,972	11,046
歳入合計		10,209	12,282

課題	・地域によって組織設置の状況が異なるため、設置が進んでいない地域に対し、より積極的に事業推進を図る必要がある。	方向性	・自治会や自主防災組織など地域にある住民組織の役割も踏まえて、要配慮者支援組織の目的や役割を丁寧に説明する必要があることから、引き続き、市民部・防災部・健康福祉部の3部が連携して、地域におけるより実効性のある共助・支え合いの体制づくりを進める。 ・引き続き公民館単位での組織化の提案等、地域の実情に応じた働きかけをしていく。
----	---	-----	---

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	要配慮者支援推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	組織拡大の取り組み（説明会等の開催）		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	70		
負担金補助及び交付金	12,212		
事業費計		12,282	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	自主防災組織育成費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	自主防災組織の結成を促進する。（共助）	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		自主防災組織結成率（%）	74.6	80	85	100
	目標（何を達成するのか）					
	松江市自主防災委員会が住民に対し「災害に備える」意識を啓発し、住民が地域で支え助け合う共助の重要性を理解・認識することで、地域の防災活動への参加につなげる。					

事業概要

松江市の自主防災組織の連合体である「松江市自主防災委員会」（※）へ自主防災組織の育成や強化などの活動をしていただくために補助金を交付し、活動を支援するとともに、自主防災組織未結成地区に対しての出前講座や、自治会加入を促す説明会等において自主防災組織の必要性を説明する。

※公民館29地区から各1名選任された自主防災組織の代表者で構成する組織

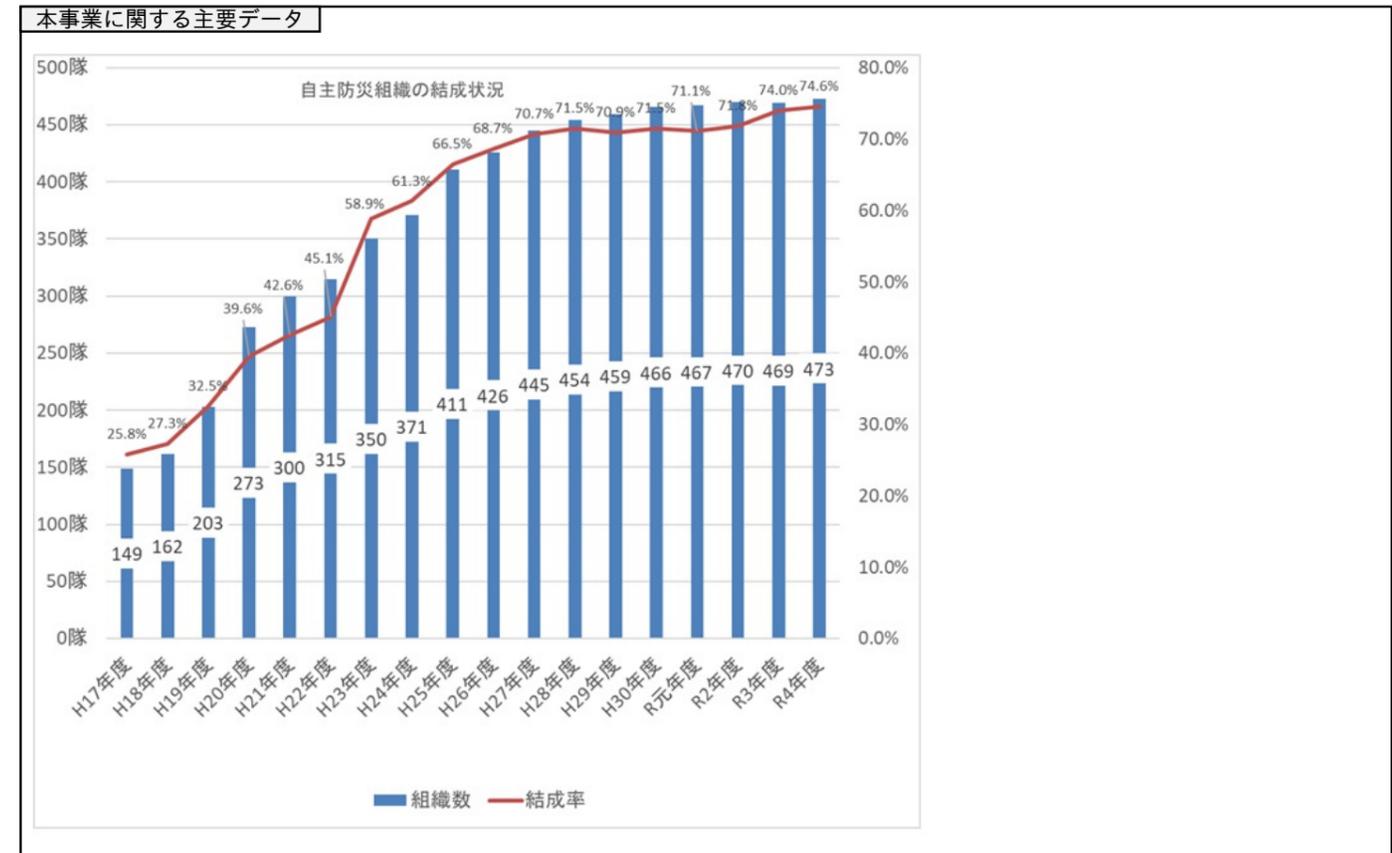
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織結成の増減：4 隊増 自主防災組織数：4 7 3 隊 自主防災組織結成率：7 4 . 6 % 自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員及び防災士向けの研修会の実施 防災意識啓発用資機材の購入等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織結成の増減：4 7 隊増 自主防災組織数：5 2 0 隊 自主防災組織結成率：8 0 . 0 % 自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員及び防災士向けの研修会の実施 防災意識啓発用資機材の購入等への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織結成の増減：4 5 隊増 自主防災組織数：5 6 5 隊 自主防災組織結成率：8 5 . 0 % 自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員及び防災士向けの研修会の実施 防災意識啓発用資機材の購入等への補助
	達成度		
	3	計画目標に向けて進捗はやや遅れている	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		527
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	527
歳入合計		0	527

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> 自治会単位で結成されている自主防災組織においては、自治会長が隊長を兼ねていることが多く、単年度毎で会（隊）長が交代することにより、組織内での防災意識の醸成や防災活動の継続が難しい状況にある。 活動実績のない自主防災組織に対して活動を促す働きかけが必要である。 自主防災組織未結成地区の居住者や自治会未加入者について、災害への備えや防災意識向上など自助、共助の働きかけを検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災意識の向上や防災活動が継続することを目的に、各自主防災組織に対し、定期的な防災研修の開催や、防災意識向上につながる広報活動・情報提供を実施する。 自主防災組織未結成地区に対しての出前講座や、自治会加入を促す説明会等において自主防災組織の必要性を説明する。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	補助金交付決定		
	5～6月	補助金交付		
	3～4月	補助金の実績による補助金確定通知の交付		
	未定	松江市地域防災指導員及び防災士向け研修会		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	27		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計		527	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	総合防災センター整備事業

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	災害への迅速な対応や防災教育の場としての防災拠点の強化を図るもの。	項目（成果指標） 成果指標になじまない	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）					
	災害対策本部の機能として、オペレーションシステムを整備する。システムを一元化し、災害発生時における迅速な応急対策の実施及び円滑な災害復旧を図り、災害による市民生活への影響を最小限に抑える。					

事業概要
 防災行政無線や、河川監視カメラ・津波監視カメラ・災害情報共有システムなど既存の機器・システムと連携し、統括管理する機能を「総合防災センター」と位置づけ、災害対応を適切に行うことを目的として整備する。
 構築イメージとして、関係機関との連携を強化するため、既存の機器・システム更新時期に合わせて、それぞれの機能が将来的にリンクできるよう、互換性を持たせることを検討する。
 災害時には、災害関連情報を統合し災害発生を予測し、的確な避難情報の発令を行うことにより、市民の迅速な避難行動につなげる。また、平時は市民への防災教育の場とすることにより、総合的な防災施策の推進を行うことができる。

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	新庁舎レイアウトの詳細確認と更新機器を精査し、総合防災センター整備に係る基本仕様書（案）を作成する。	整備に係る基本仕様書を決定し、概算費用を固めて予算要求を行う。	入札・契約
	達成度		
	1	計画目標に向けて順調に推移	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部として意思決定を図るために、効果的な情報収集・情報共有が行えるような仕様を検討する。 新庁舎整備のスケジュールと整合性を取りながら進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部機能が円滑に運営できるよう、操作しやすいシステムを整備する。 防災学習の場としても活用できるよう、レイアウト変更が容易に行えるようにする。

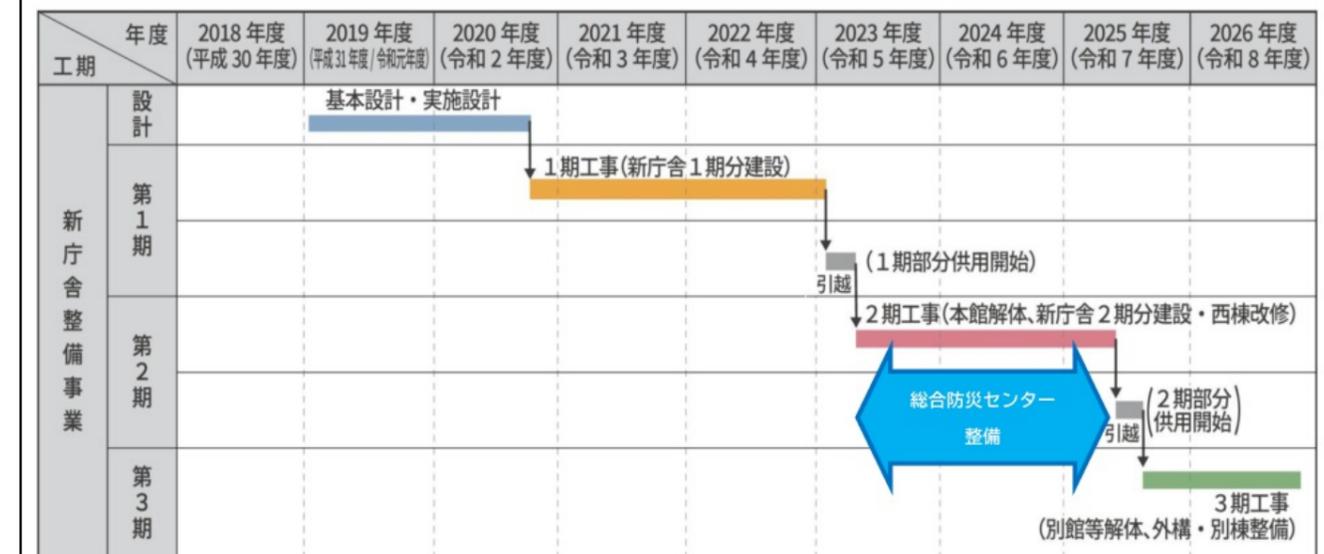
松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4～8月	基本仕様書決定、予算要求準備		
	10～1月	予算要求		

本事業に関する主要データ

【総合防災センター整備スケジュール】

新庁舎2期工事期間中に整備する。



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	防災出前講座実施事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	地域防災力の強化を図る。（自助）	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		防災出前講座の実施（回）	52	65	80	
	目標（何を達成するのか）					
	市民等の団体が主催する会に、市職員を講師として派遣する出前講座を実施することにより、「自らの命は自分で守る」という災害への備えの大切さや、身を守るために必要となる知識・情報を共有する。					

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	出前講座の実施		

事業概要
 松江市地域防災計画に基づき、市民に対し、「自らの命は自分で守る」という意識の徹底や、地域の災害リスクと取るべき避難行動など、市民の防災意識を高め、家庭や職場、学校における地域の防災行動力を向上させるため、出前講座を実施する。
 特に、マイ・タイムラインの作成や非常持出品について積極的に周知する。

本事業に関する主要データ						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
実施回数（回）	80	126	76	31	60	52
延べ参加者人数（人）	3,061	4,419	2,576	1,011	1,895	1,961

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	出前講座実施回数：52回	出前講座実施回数：65回	出前講座実施回数：80回
	達成度		
2	計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費		
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

課題	参加者の年齢層に偏りが生じている。	方向性	ホームページや広報誌を通じ、出前講座の周知を図る。 学校への出前授業を実施し、若年層の防災意識向上を図る。
----	-------------------	-----	--

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
総務部人事課	人材確保対策費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	・志が高く優秀な職員を安定的に確保する	項目（成果指標） 職員採用試験WEBページの閲覧数（件）	R4実績見込 38,000	R5計画 42,000	R6計画 45,000	目標値 48,000
	目標（何を達成するのか）					
	松江市職員採用試験の申込者数及び受験者数の増加					

事業概要	(数値目標の目標年度) 職員採用試験情報掲載WEBページの閲覧数（件）：2029(R11)年度
	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用専用WEBサイトのコンテンツの拡充及び広報活動により、主に県外在住学生に対し、松江市役所の魅力を発信し、採用試験受験に結びつけるため、近隣大学等での採用説明会などのプロモーション活動を実施する。 確保が困難な専門職（獣医師、薬剤師など）の採用に特化した、プロモーション活動を行う。

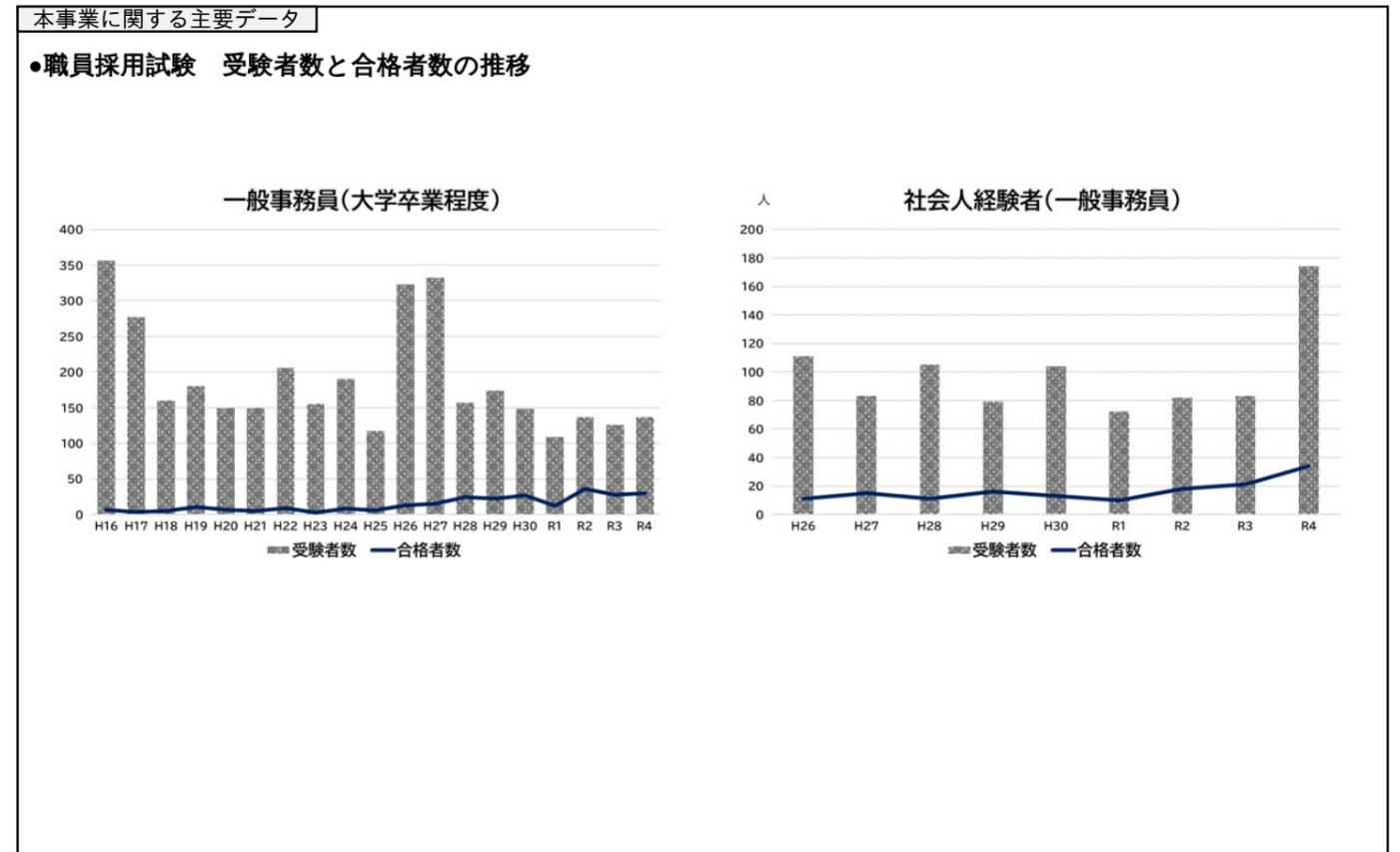
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用専用WEBページ 追加コンテンツ掲載、専門職用動画作成 近隣大学等訪問ガイダンスへの参加 職員採用試験説明会の開催 仕事研究セミナー（各課職員による業務紹介）開催 	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用専用WEBページ 追加コンテンツ掲載、専門職用動画作成 近隣大学等訪問ガイダンスへの参加 職員採用試験説明会の開催 仕事研究セミナー（各課職員による業務紹介）開催 	<ul style="list-style-type: none"> 職員採用専用WEBページ 追加コンテンツ掲載、専門職用動画作成 近隣大学等訪問ガイダンスへの参加 職員採用試験説明会の開催 仕事研究セミナー（各課職員による業務紹介）開催
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	1,417	1,417
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,417	1,417
歳入合計		1,417	1,417

課題	方向性
<p>公務員志望者数は全国的に見ても平成23年度をピークに減少傾向にあり、少子高齢化の中、人材確保が困難になってきている。松江市においても全国同様、受験者数の減少傾向が続く一方で、多様な行政需要に対応するため合格者数は増加傾向である。志が高く優秀な人材を確保するためには、より多くの受験者の中から良い人材を見極めることが必要である。</p> <p>《松江市 一般事務員（大卒程度）》 H27受験者数332人（合格者数15人） → R3受験者数126人（合格者数28人）</p>	<p>受験希望者向けに採用専用サイトの更なる充実を図り、仕事内容、職場環境、先輩職員の声、福利厚生など、働くことに関連するコンテンツを中心に発信し応募を促進する。また、中核市への移行後、市民生活に直結する業務を幅広く本市で担うことが可能になった一方で、業務の遂行に必要な多様な専門職の採用には苦慮している。専門職の魅力を発信し松江市への受験者を増やすため、専門職向けの採用PR動画やパンフレットを制作する。</p>

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	職員採用プロモーション事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	随時	近隣大学説明会参加		
	4～12月	専用サイト改修		
	4～12月	PR動画制作		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	311		
委託料	1,100		
使用料及び賃借料	6		
事業費計			1,417

所属	事業名
総務部総務課	文書管理システム運営費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	公文書管理及び決裁管理の適正化及び効率化	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	電子決裁率（%）		90	90	92	99
目標（何を達成するのか）						
公文書管理システム及び電子決裁システムの導入						

事業概要	<p>公文書の收受、起案、施行、保管、廃棄など一連の管理業務を適正化・効率化する「文書管理システム」の導入及び普及 押印の廃止、ペーパーレス化、決裁の効率化を推進するための「電子決裁システム」の導入及び普及 （令和5年1月から本格運用開始）</p> <p>数値目標の目標年度 項目名 電子決裁率（%）：2029(R11)年度</p>
------	---

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	令和4年4月からシステム構築。令和4年10月からテスト運用実施。令和5年1月から本格運用開始。	職員の意見を踏まえ、文書管理事務の効率化及び電子決裁率向上を目的としたPDCAを回していく。	職員の意見を踏まえ、文書管理事務の効率化及び電子決裁率向上を目的としたPDCAを回していく。
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	5,883	23,532
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	5,883	23,532
歳入合計		5,883	23,532

課題	<p>システム導入前 1 不十分な文書管理 大量の文書を、Excelで作成した目録で管理 2 煩雑な現存紙文書管理 文書の検索、整理整頓、廃棄が煩雑 3 文書保管場所の不足 全体の7割を永年文書が占めており、保存・保管場所の確保及び廃棄に苦慮 4 情報公開方法の遅れ 公開請求の目的文書まで検索することが出来ないため、職員が手作業で検索</p>	方向性	<p>総合的な行政文書管理機能を持つ文書管理・電子決裁システムを導入し、事務処理の効率化・簡素化の推進、市民サービス向上のための庁内情報の円滑な共有と文書管理能力の向上、電子化・ペーパーレス化による紙文書の削減を図る</p>
----	--	-----	--

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	文書管理・電子決裁システムの導入・運用

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	運用、保守		

本事業に関する主要データ

(1) 文書管理システムと電子決裁システムのイメージ

文書管理システム
 「文書管理システム」は文書の起案、保存、管理、廃棄など一連の文書管理を行うことができるシステム。個々の文書が自動的にデータ整理されるため文書検索・複写作成・廃棄など文書管理業務の効率化が期待できる。ただし本システム単体では紙文書で回議・決裁を行う必要があり文書量の削減にならない。

電子決裁システム (オプション)
 「電子決裁システム」は文書の回議・決裁を電子データのまま行うための管理システム。紙で印刷する必要はなく紙の文書量の削減が期待できる。

起案はパソコンでできるけど印刷や管理が面倒だな

起案 データ 電 → 印刷 紙文書 紙 → 決裁 紙文書 紙 → 保存 紙文書 紙 → 廃棄 紙文書 紙

起案 データ 電 → 決裁 データ 電 → 保存 データ 電

起案 → 決裁 → 保存

パソコンで決裁や進捗管理ができるから楽だわ〜！
 どれだけ回議が進んでもかシステムを見ればひと目でわかるので便利！

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
使用料及び賃借料	23,532		
事業費計			23,532

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江城・史料調査課	松江市文書館（仮称）機能整備事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、選別した歴史的に重要な公文書と地域に所在する歴史史料（古文書等）を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とする。	項目（成果指標） 松江市文書館（仮称）基本計画策定（件）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか）	国立公文書館アーキビスト研修受講（人）	3	4	4	4
	「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、文書館の3つの機能（①歴史公文書・地域の歴史史料の調査、収集、整理、保存②調査研究・歴史編纂③史料・情報の公開と提供）を整備する。	歴史公文書目録作成（累計）（冊）	5,878	8,878	11,878	12,000

事業概要	〔数値目標の目標年度〕 ・松江市文書館（仮称）基本計画策定：2024（R6）年度 ・国立公文書館アーキビスト研修受講者数：2026（R8）年度 ・歴史公文書目録作成（累計）：2026（R8）年度
	①【歴史公文書、地域の歴史史料の調査、収集、整理、保存】 歴史公文書に関しては、保存期間を満了した文書の評価・選別、文書館での公開に向けた目録の作成、保存の仕組みを整える。地域の歴史史料に関しては市内に残された未調査の文書の調査・整理・保存処置を継続的に行う。そのために、専門的職員（アーキビスト）の育成も実施する。
	②【調査研究・歴史編纂】 歴史公文書や地域の歴史史料に基づく調査・研究を行い、その成果を「松江市歴史叢書」や「松江市歴史史料集」等の刊行物に反映する。 ③【史料・情報の公開と提供】 史料の調査・研究により明らかとなった内容を市民に分かりやすく伝えるため、ホームページやTwitter等での情報発信、Web講座等を実施する。

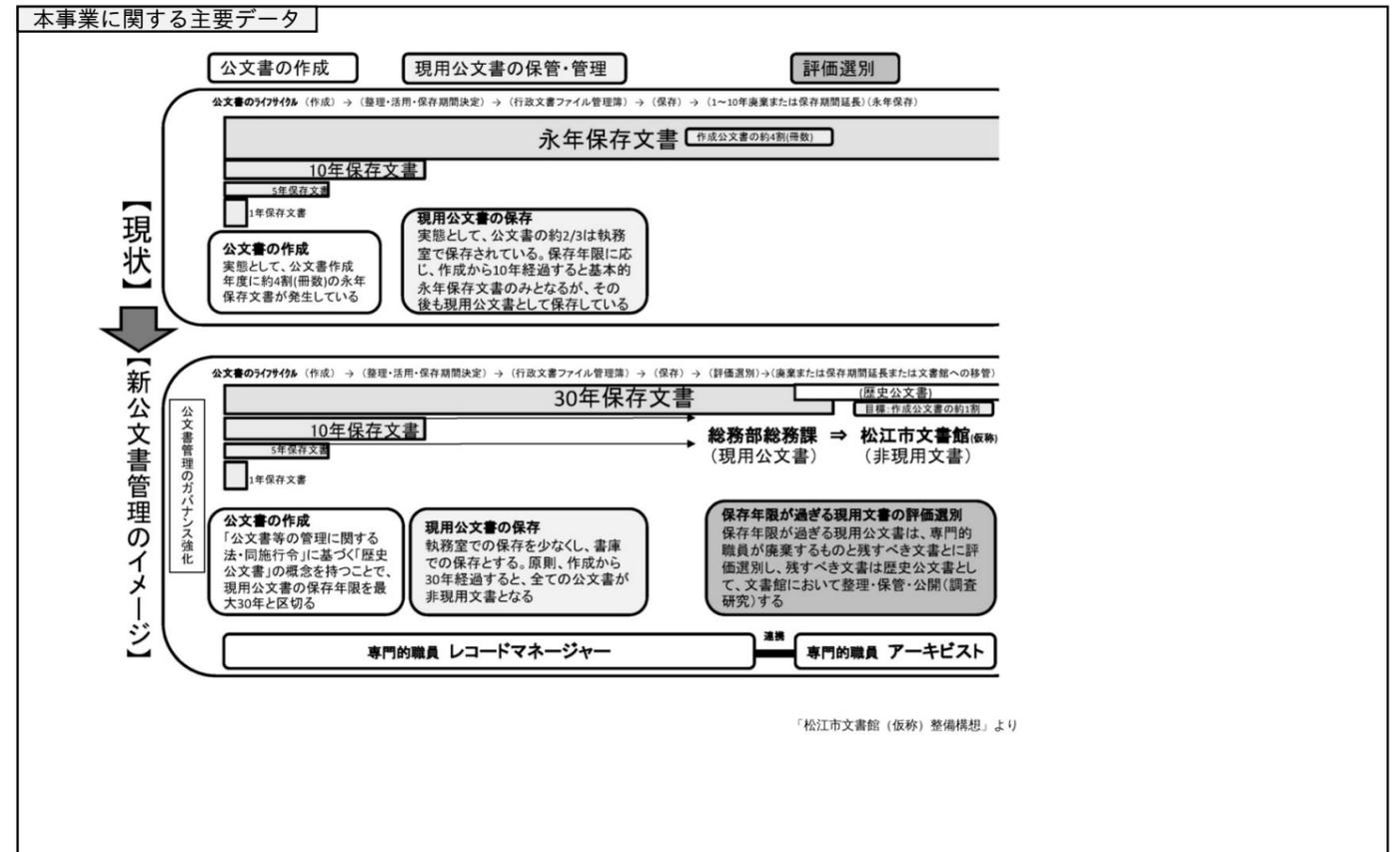
事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 歴史公文書評価選別の試行 昭和期以前の歴史公文書の目録化作業 歴史公文書の整理・保存処置 専門職（アーキビスト）の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史公文書評価選別 昭和期以前の歴史公文書の目録化作業 歴史公文書の整理・保存処置 専門職（アーキビスト）の育成 基本計画検討委員会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史公文書評価選別 昭和期以前の歴史公文書の目録化作業 歴史公文書の整理・保存処置 専門職（アーキビスト）の育成 基本計画検討委員会の開催
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	3,435	4,607
	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,435	4,607
	歳入合計	3,435	4,607

課題	・保存年限を過ぎた歴史的に価値のある公文書を適切に保存・管理・公開する仕組みがない。	方向性	・「松江市文書館（仮称）」の機能整備を進め、作成から保存、廃棄、文書館への移管、歴史公文書の利用までの文書管理全体の仕組みを整える。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	松江文書館（仮称）機能整備事業費

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月～1月末頃	公文書評価選別作業	12月頃	第2回文書館基本計画検討委員会
	9月頃	第1回文書館基本計画検討委員会	3月頃	第3回文書館基本計画検討委員会
	9月～11月	国立公文書館アーカイブズ研修Ⅲ受講		
	9～10月頃	東出雲支所公文書移転作業		



R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,778		
職員手当等	371		
共済費	361		
報償費	588		
旅費	748		
需用費	703		
委託料	58		
事業費計			4,607

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部広報課	広報活動の充実、シティープロモーションの強化

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	広報活動の充実

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	情報化、多様化に対応し、必要とする情報を市民が簡単に得られる。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
	目標（何を達成するのか） ・本市からのお知らせに日常的に触れることができる ・友人・知人に松江のことを知らせたくなる	地域ブランド調査認知度ランキング（位）	100	90	85	30
		松江のことを発信した人の割合（%）		45	50	80
	市の情報がわかりやすいと感じる割合（%）		35	40	60	

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	8月	公式LINE運用委託事業者決定		
	10月	公式LINE運用開始		
	3月	SNS職員研修実施		

事業概要
 情報伝達手段の多様化により、市民はインターネット、TwitterやInstagram、Facebookなど様々な媒体で情報を得られることができるようになり、情報は手に入れるものではなく、手軽に手に入るものになった。そのため、今までと同じ手法により情報発信を行っている市民は「情報が入ってこない」と感じてしまうため、多様な媒体・手法を使って情報発信を行う必要がある。
 具体的には、SNS、ホームページで市民が「いいね」やリツイートをしたくなる情報を発信し、その「いいね」やリツイートを見ることで、本市からの情報を得られる市民を増やす。
 さらに、市民が友人・知人に知らせる感覚で、自ら情報発信をすることで、本市からの情報発信以外でも本市の情報を得られることができる環境を醸成する。

本事業に関する主要データ

松江市公式SNS 各フォロー数

	R3.9	R3.12	R4.3	R4.6	R4.9	R4.12	R5.1
facebook	336		480	537	935	958	964
Instagram				891	1,079	1,297	1,433
Twitter	2,572	4,420	5,090	5,536	5,736	6,182	6,468
YouTube	725	839	929	1,060	1,121	1,225	1,263

令和4年4月～12月
 総投稿数1,409(月平均156.5 / 1日約5回投稿)

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	市ホームページリニューアル 公式SNSの各コンテンツの強化	公式LINEの運用開始 官民協働事業で実施する「わが街ポータル」サイト運用	ホームページの小規模改修 チャットボットの導入検討
	達成度		
1	計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
事業費		30,753	8,804
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	1,440	1,440
	一般財源	29,313	7,364
歳入合計		30,753	8,804

課題	・SNSの掲載について堅い内容が多く、また媒体ごとの掲載内容の選定ができていない ・市報やホームページなど、回りくどく、難しい表現をしている掲載内容が多い	方向性	・SNSの媒体ごとに発信内容を選定する ・やさしい文章で掲載する
----	--	-----	-------------------------------------

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
LINE構築事業費	2,520		
事業費計		2,520	

令和5年度 総合計画実施計画

所属	事業名
政策部デジタル戦略課	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業費

事業の目的と目標	目的（何のために）	数値目標				
	「市民サービスの向上」と「業務の効率化」、およびそれらを支えるための「人財育成」という観点で、先進技術を取り入れながら市役所のデジタル化を推進する。	項目（成果指標）	R4実績見込	R5計画	R6計画	目標値
		「市民サービスの向上」開始済件数（件）	9	13	2	24
	目標（何を達成するのか）	「業務の効率化」開始済件数（件）	13	10	5	29
策定した「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、市民サービスの向上や業務の効率化、人財育成の取組を進める。						

事業概要

令和3年度末策定の「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、「ちょうどいい市役所」をめざして、デジタル技術を用いた市民サービスの向上や業務の効率化等に取り組む。

＜基幹系システム標準化対応＞
 ・令和7年度末までに、標準仕様書に準拠した自治体基幹系システム（20業務）を導入するため、業務フローの整理や仕様書に関する情報収集などを行う。
 ・松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画の進捗管理

・策定した計画に基づき、「市民サービスの向上」「業務の効率化」「人財育成」の3つの柱に紐づいた取組の進捗管理を行う。

（数値目標の目標年度）
 「市民サービスの向上」開始済件数（件）：2024（R6）年度
 「業務の効率化」開始済件数（件）：2024（R6）年度

事業計画	R4実績見込	R5計画	R6計画
	<ul style="list-style-type: none"> 「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」における目標達成に向けて、各取組の進捗管理を行う。 自治体基幹系システムの標準化への対応に向けて、調達スケジュールの調整、標準仕様書の情報収集、事務担当課との業務フロー整理。 ITガバナンスの構築（情報化企画ガイドラインや調達・契約ガイドラインの作成、職員への周知、システム台帳整備など） 	<ul style="list-style-type: none"> 「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」における目標達成に向けて、各取組の進捗管理を行う。 上記計画の第2期実施計画を策定する。 CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援を行う。 庁内のDXやデジタルデバインド対策など、当課が取り組む自治体DXの各取組を引き続き推進する。 庁内のデジタル人財育成のため、職員のデジタルリテラシー向上のための研修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」第2期実施計画の達成にむけた進捗管理、各課への伴走支援を行う。 CIO補佐官の支援を受けながら、担当課のシステム調達・更改の相談支援を行う。
	達成度	1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R4	R5
		決算見込	当初予算
財源内訳	事業費	11,571	8,059
	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	11,571	8,059
歳入合計		11,571	8,059

課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> ＜庁内における課題＞ ・デジタル化の方針に基づき、多数のデジタル化の取組を同時並行で進める必要がある。 ・一部の取組については、新庁舎の整備にも関連することなので、スピード感を持ちつつ慎重に進める必要がある。 ＜外部における課題＞ ・国は新たに「デジタル田園都市国家構想」を掲げており、各自治体もこの構想に併せて自治体全体のデジタル化を速やかに進めなければならない。 ・今後も国から様々な方針が出されることが予想されるため、引き続き動向を注視する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、市民サービスの向上や業務の効率化、人財育成の取組を推進する。 ・ITガバナンスの周知を徹底し、システム調達・管理体制を最適化させる。 ・令和7年度末までの自治体基幹系システムの標準化に向けた対応が遅れることのないよう、適切に調整していく。 ・内閣府やデジタル庁の動向を注視し、適宜対応していく。

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業

R5スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	デジタル市役所計画実施計画 各取組の推進	7月～3月	庁内部会、アドバイザー会議、デジタル推進委員会の開催
	6月	第2期実施計画策定 アドバイザー会議委員の選定		
	6月	庁内部会の設置（参加職員の選定）		
	7月～1月	第2期実施計画（案）の作成		

本事業に関する主要データ

○松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画 第1期実施計画 令和4年度開始済事業

市民サービスの向上（9件）					業務効率化（13件）																
市民課窓口キャッシュレス決済の導入	高齢者スマホ教室の実施	公立保育所、幼稚園の登降園管理デジタル化	病児保育支援システムの導入	保育所AI入所選考システムの導入	市公式ホームページの更新	オンラインアンケートの導入	松江城天守VRの導入	松江歴史館収蔵品データベースの公開	システム管理・調達ルールの作成	テレワーク環境の整備、拡充	情報セキュリティポリシーの改定	Web会議環境の整備、拡充	文書管理、電子決裁システムの導入	単純業務の自動化・RPAの導入	AI会議録作成システムの導入	庶務事務システムの導入	職員災害情報共有システムの強化	エネルギー使用量報告システムの導入	公立保育所、幼稚園の登降園管理デジタル化（再掲）	病児保育支援システムの導入（再掲）	保育所AI入所選考システムの導入（再掲）

○自治体基幹系システム標準化20業務

住民記録系（7業務）				税・国保系（5業務）				福祉系（8業務）											
住民基本台帳	印鑑登録	戸籍	戸籍附票	国民年金	選挙人名簿管理	就学	個人住民税	法人住民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	障がい者福祉	生活保護	健康管理	児童手当	児童扶養手当	子ども子育て支援

R5節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,778		
職員手当等	371		
共済費	336		
報償費	132		
旅費	286		
委託料	4,733		
使用料及び賃借料	423		
事業費計		8,059	